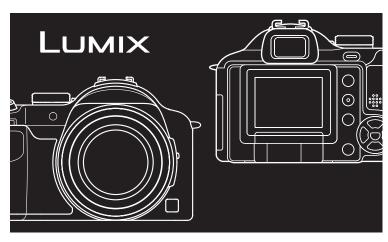
Panasonic®

取扱説明書

デジタルカメラ

品番 **DMC-FZ50**

LEICA
DC VARIO-ELMARIT

このたびは、デジタルカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（149 ～ 154 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

VQT0X91

安全上のご注意
はじめに
準備
基本
応用
撮影・再生メニュー
他の機器との接続
その他 Q&A

もくじ

はじめに

準備

基本

応用

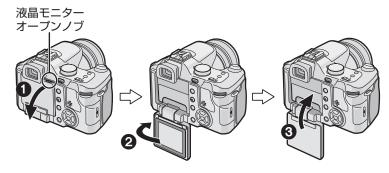
撮影・再生メニュー

他の機器との接続

その他・Q ＆ A

本書について

つづく

お買い上げ時、液晶モニターは収納状態になっています。
液晶モニターを下図のようにしてください。

❶ 液晶モニターオープンノブに指をかけて、液晶モニターを引き出す
❷ 左に 180° 回転させる
●右には 90° しか回転しません。
❸ 元の位置へ戻す
● 液晶モニターの回転方法については、25 ページをお読みください。

■ 本書内の表示について

モードダイヤル設定：P A S M C 🎞 SCN A ▶

各機能や設定が使用できるモードを表しています。
モードダイヤルをいずれかに合わせてご使用ください。

C ：CUSTOMモードを表しています。

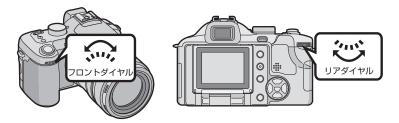
本機を使用するうえで、知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

次のページへ続くことを表しています。

■ カーソルボタンのイラストについて

本書ではカーソルボタンを下図のように説明しています。

■ フロントダイヤル、リアダイヤルについて

本書では、画面アイコンに合わせて下図のように説明しています。

フロントダイヤル、リアダイヤルは、ゆっくり確実に回してください。

■ 本書内のイラスト表示について

本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

ホームページではデジタルカメラの撮りかたやコツ、新製品の情報などを紹介しています。参考にご覧ください。

http://panasonic.jp

また製品のサポート情報については

http://panasonic.jp/support/

をご覧ください。

モードダイヤルについて

◻ の部分に使用したいモードを合わせる

モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。
（モードダイヤルは360°回転します）

S シャッター優先AEモード
設定したシャッタースピードから絞り値が自動的に決まり、撮影できます。

M マニュアル露出モード
絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

A 絞り優先AEモード
設定した絞り値からシャッタースピードが自動的に決まり、撮影できます。

CUSTOM カスタムモード
よく使う設定を登録しておけます。

動画撮影モード
音声付き動画を撮影します。

P プログラムAEモード
露出をカメラにまかせて撮影します。

SCN シーンモード
撮影シーンに合わせて撮影できます。

▶ 再生モード
撮影した画像を再生します。

A オートモード
初心者におすすめのモードです。

まずお読みください

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ カードの画像について

- 以下の画像は、本機で再生できない場合があります。
  - ・他機で記録、作成した画像
  - ・パソコンで編集された画像
- 本機で記録、作成した画像は他機で再生できない場合がありますので、あらかじめお確かめください。

■ 本機で使用できるカードは

SD メモリーカード、SDHC メモリーカードおよびマルチメディアカードです。

- 本書では以下のカードのことを「カード」と記載しています。
  - ・SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
  - ・SDHC メモリーカード（4 GB まで）
  - ・マルチメディアカード
- マルチメディアカードは静止画のみ対応しています。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDHC ロゴは商標です。
- miniSD ロゴは商標です。
- Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporation の商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Computer Inc. の登録商標または商標です。
- LEICA/ ライカはライカマイクロシステム IR GmbH の登録商標です。
- ELMARIT/ エルマリートはライカカメラ AG の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

つづく

故障を防ぐために

■ 本機の取り扱いについて

- **本機に強い振動や衝撃を与えないでください。**誤動作したり、画像が記録できなくなる可能性があります。また、レンズが破壊される可能性があります。
- **砂やほこりは、本機の故障につながります。浜辺などで使うときは、レンズ部内部や端子部に砂やほこりが入らないようにしてください。**
- 雨の日や浜辺などで撮影するときは、本機をぬらさないようにお気をつけください。
- **万一水や海水がかかったときは、柔らかい乾いた布でふいてください。**

■ 液晶モニター/ ファインダーについて

- **液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。**
- 温度差が激しい場所では、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニター / ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- **液晶モニターを回転させるときは、無理な力を加えないようお気をつけください。故障の原因になります。**
- **三脚使用時、三脚によっては、液晶モニターがスムーズに開閉・回転できない場合があります。このような場合は、本機を三脚から取り外し、液晶モニターを開閉・回転させてください。**
- 液晶モニターを使用しないときやファインダーを使用するときは、汚れや傷防止のため液晶モニターを内側に収納しておくことをおすすめします。
- 長期間保管する場合、液晶モニターを内側に収納しておくことをおすすめします。

液晶モニター / ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニター / ファインダーの画素については 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

■ レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズ表面に汚れ（水、油、指紋など）が付いた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。

故障を防ぐために(つづき)

■ つゆつきについて（レンズやファインダーがくもるとき）

- つゆつきは、下記のように温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
  - ・寒い屋外から屋内に持ち込んだとき
  - ・車外から冷房の効いた車などに持ち込んだとき
  - ・エアコンなどの冷風が本機に直接当たっているとき
  - ・湿度の高いところ
- つゆつきの発生を防ぐためにビニール袋に入れて周囲の気温になじませてください。万一つゆつきが起こった場合、電源を [OFF] にし､2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■ 長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  (推奨温度 :15 ℃～ 25 ℃、推奨湿度 : 40%～ 60%です)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源が [OFF] であっても､絶えず微少電流が流れています。
  これをそのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合､1 年に 1 回は充電し、バッテリー残量がなくなったあと、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。
- **長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。**

付属品

付属品をご確認ください。

記載の品番は 2006 年 8 月現在のものです。

バッテリーパック
DMW-BMA7
（本文中では**バッテリー**と表記します）

バッテリーチャージャー
DE-993A
（本品は共用タイプです）
（本文中では**チャージャー**と表記します）

AV ケーブル
K1HA08CD0008

USB 接続ケーブル
K1HA08CD0007

CD-ROM

レンズキャップ
VYK1P30

レンズフード
VYQ3467

ストラップ
VFC4213

- **カードは別売です。**
- その他の別売品については135 ページを参照してください。

付属品は、販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは、「パナセンス」のサイトをご確認ください。

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

各部の名前

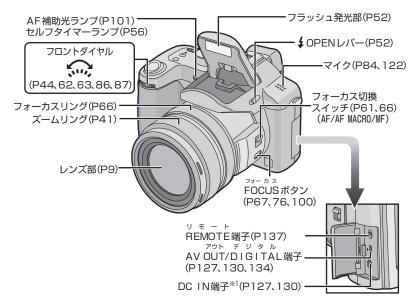
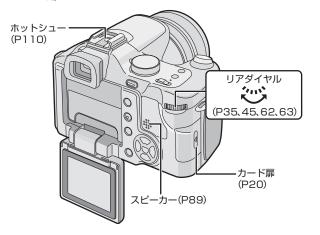
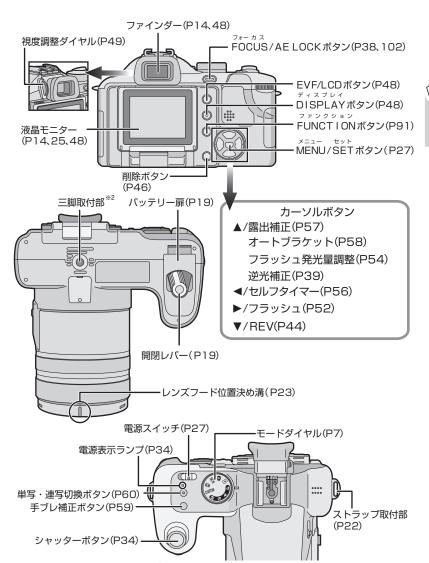
AF補助光ランプ(P101)
セルフタイマーランプ(P56)

フロントダイヤル
(P44、62、63、86、87)

フォーカスリング(P66)
ズームリング(P41)
レンズ部(P9)

フラッシュ発光部(P52)
OPENレバー(P52)
マイク(P84、122)
フォーカス切換スイッチ(P61、66)
(AF/AF MACRO/MF)

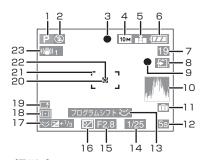
フォーカス
FOCUSボタン
(P67、76、100)

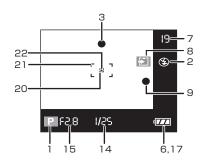
リモート
REMOTE端子(P137)
アウト デジタル
AV OUT/DIGITAL端子
(P127、130、134)
DC IN端子※1(P127、130)

※1 ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター（別売：DMW-AC7）を使用してください。

※2 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。

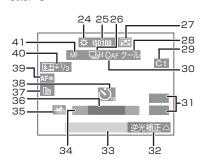
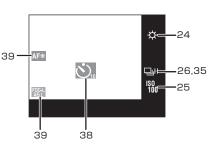
液晶モニター / ファインダーの表示

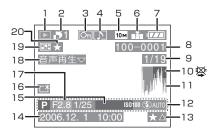
液晶モニター / ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

撮影時

（画面外表示）

■ 撮影時

1 撮影モード
2 フラッシュモード(P52)
3 フォーカス(P34)
4 記録画素数(P96)
5 クオリティ(P96)
動画時(P84)：
30fps VGA / 10fps VGA / 30fps QVGA / 10fps QVGA / 30fps 16:9 / 10fps 16:9
手ブレ警告(P37)：
6 バッテリー残量(P18)
7 記録可能枚数
記録可能時間(P84)：残XXhXXmXXs
8 カードアクセス(P21)
9 記録動作
10 ヒストグラム(P51)
11 トラベル日付(P80)
12 動画経過時間(P84)
13 プログラムシフト(P35)
14 シャッタースピード(P34)
インテリジェントISO(P94)：I ISO
15 絞り値(P34)
16 プログラムシフト(P35)
17 露出補正(P57)
ダイレクト露出補正(P103)
逆光補正(P39)：
18 測光モード(P98)
19 パワーLCD(P50)
20 スポット AF エリア(P98)
21 AF エリア(P34)
22 スポット測光ターゲット(P98)
23 手ブレ補正(P59)

つづく

撮影時

（画面外表示）

24 ホワイトバランス(P91)
　ホワイトバランス微調整(P93)
25 ISO 感度(P94)
26 連写(P60)
　音声記録(P84、98):
27 コマ撮りアニメ(P105)
28 カラーエフェクトモード(P104)
29 カスタムセット(P69)
30 AF 連続動作(P101)
31 ズーム(P41)
　デジタルズーム(P43): 2X
　EX 光学ズーム(P42): EZ1X
32 逆光補正操作(P39)
33 現在日時
　起動時/時計設定後/再生モードから撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。
34 月齢 / 年齢(P78)
　赤ちゃんモードで起動時/時計設定後/誕生日設定後/他のモードから赤ちゃんモードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。
35 オートブラケット(P58)
36 トラベル経過日数(P80)
　トラベル日付を設定した状態で起動した場合 / 時計設定後 / 出発日設定後 / トラベル日付設定後/ワールドタイム設定変更後/再生モードから他のモードへ切り換え後に約 5 秒間表示されます。
37 コンバージョンレンズ(P107)
38 セルフタイマーモード(P56)
39 AF 補助光(P101)
　FOCUS/AE ロック(P102):
　FOC-L / AE-L / FOC-L AE-L
40 フラッシュ発光量調整(P54)
41 MF(P66)

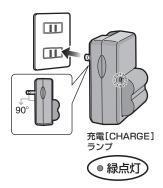
再生時

■ 再生時

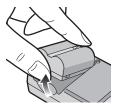
1 再生モード(P45)
2 DPOF プリント枚数(P119)
3 プロテクト(P121)
4 音声付き静止画/動画(P89)
5 記録画素数(P96)
6 クオリティ(P96)
動画時(P89):
30fps VGA/10fps VGA/30fps QVGA/10fps QVGA/30fps 16:9/10fps 16:9
7 バッテリー残量(P18)
8 フォルダー・ファイル番号(P128)
9 画像番号 / トータル枚数
10 ケーブル切断禁止アイコン(P133)
PictBridge対応プリンターに接続し、プリントしているときに表示されます。(プリンターによっては表示されない場合があります)
動画記録時間(P89):XXhXXmXXs
11 ヒストグラム(P51)
12 撮影情報
13 お気に入り設定(P116)
再生経過時間(P89):XXhXXmXXs
14 撮影日時
15 月齢 / 年齢(P78)
16 パワーLCD(P50)
17 トラベル経過日数(P80)
18 音声再生(P89)
動画時(P89):動画再生▽
19 コマ撮りアニメ(P105)
20 お気に入り表示(P116)

バッテリーをチャージャーで充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

1 端子部を差し込み、バッテリーを取り付ける

2 電源コンセントに差し込む

- 充電中は、充電 [CHARGE] ランプが緑色に点灯します。
- 充電 [CHARGE] ランプが点滅する場合は、18 ページをお読みください。

3 充電が完了したら、バッテリーを取り外す

- 満充電完了後（約 120 分後）、充電 [CHARGE] ランプが消灯します。

- 充電完了後、電源コンセントから外してください。
- 使用後、充電中や充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- 充電完了後にバッテリーを長期間放置すると、バッテリーは消耗します。その場合は、再度充電し直してください。
- **本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。**
- **チャージャーは海外でも使うことができます。（P138）**
- **チャージャーは屋内で使用してください。**

バッテリーについて（充電・記録可能枚数）

■ 残量表示について

残量表示が液晶モニター / ファインダーに表示されます。

表示が赤色に変わり点滅します。
バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

[AC アダプター（別売：DMW-AC7）につないで使用するときは表示されません]

■ 電池寿命について

液晶モニター使用時の撮影枚数
(条件は CIPA 規格でプログラム AE モード時)

記録可能枚数	約 360 枚 （約 180 分相当）

CIPA 規格による撮影条件

- 温度23 ℃ / 湿度50%、液晶モニターを点灯
- 当社製の SD メモリーカード（別売：32 MB）※使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから 30 秒経過後、撮影を開始（手ブレ補正 [MODE1] 使用）
- **30秒間隔で 1 回撮影**、フラッシュを2回に 1 回フル発光
- １０枚撮影ごとに電源をいったん切る
- CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association）の略称です。

※カードは付属していません。

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。

- **例えば2分に 1 回撮影した場合は、約 90 枚に減少します。**

パワー LCD 機能使用時は撮影枚数が減少します。

ファインダー使用時の撮影枚数
（条件は左記 CIPA 規格と同じ）

記録可能枚数	約 360 枚 （約 180 分相当）

液晶モニター使用時の再生時間

再生時間	約 300 分

記録可能枚数/再生時間はバッテリーの保存状態や使用条件によって多少変わります。

■ 充電について

充電時間	約 120 分

別売のバッテリーパック（DMW-BMA7）の充電時間と記録可能枚数は、付属のバッテリーパックの場合と同じです。

- 充電が始まると、充電 [CHARGE] ランプが点灯します。

■ 充電ランプが点滅するときは

- 充電時にバッテリーが過放電（極端に放電した状態）しています。しばらくすると点灯し、通常の充電になります。
- バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。充電時間が通常よりも長くなります。
- チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 充電する環境について

- 充電は周囲の温度が10 ℃～35 ℃(バッテリーの温度も同様）のところで行ってください。
- スキー場などの低温下では、バッテリーの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなる場合があります。

バッテリーを入れる・取り出す

- 電源が [OFF] になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

1 開閉レバーを矢印の方向（OPEN側）にスライドさせて、バッテリー扉を開く

2 バッテリーを入れるときは、カチッと音がするまで確実に入れる
取り出すときは ① のレバーを矢印の方向に押して取り出す

3 ❶ バッテリー扉を閉じる
❷ 開閉レバーを矢印の方向（CLOSE 側）にスライドさせて確実に閉じる

- 使い終わったら、バッテリーを取り出しておいてください。
- 満充電されたバッテリーを挿入して約 24 時間経過すると、バッテリーを取り出して放置しても、約 3ヵ月は時計設定を記憶しています。（十分に充電されていないバッテリーを挿入した場合は、記憶時間は短くなることがあります）しかし、それ以上時間が経過すると設定が消えますので、もう一度時計を設定してください。（P27）
- **カードのデータが破壊される可能性がありますので、アクセス中はカードやバッテリーを取り出さないでください。（P21）**
- **カメラの設定が正しく保存されない可能性がありますので、電源を [ON] にしたままバッテリーを取り出さないでください。**
- **付属のバッテリーは、本機専用です。本機以外で使わないでください。**
- **専用バッテリーパック（DMW-BMA7）をお使いください。**

カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源が [OFF] になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。
- SD メモリーカード（別売）、SDHC メモリーカード（別売）またはマルチメディアカード（別売）を用意する。

1 カード扉をスライドさせて開く

2 カードを入れるときは「カチッ」と音がし、ロックするまで奥まで入れる 取り出すときは「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

- カードの向きを確認してください。
- カードの裏の接続端子部に触れないでください。
- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

3 ❶カード扉を閉じる ❷最後までスライドさせて確実に閉じる

- カード扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出し、挿入方向を確認してからもう一度入れ直してください。

- **電源を [ON] にしたままカードを入れたり、取り出したりすると、カードやカードのデータが壊れる原因になることがあります。**
- **カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。**

カードについて

■ カードアクセス中は･･･

カードに画像を記録しているときは、カードアクセス表示が赤く点灯します。

カードアクセス表示の点灯中、画像の読み出しや削除、カードのフォーマット（P126）中などは、以下のことをお守りください。

- 電源を [OFF] にしない
- バッテリーやカードを取り出さない
- 本機に振動や衝撃を与えない

カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。

■ SD メモリーカード(別売)/ SDHC メモリーカード(別売)/ マルチメディアカード(別売)について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカードおよびマルチメディアカードは小型、軽量で、着脱可能な外部メモリーカードです。
- SDHCメモリーカードは、2006年にSDアソシエーションにより策定された、2 GB を超える大容量メモリーカードの新規格です。
- SD メモリーカードおよび SDHC メモリーカードは記録 / 読み出し速度が速く、カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備えています。
（スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなり、戻すと可能になります）

最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

- カードの記録可能枚数･時間については158ページを参照してください。
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、および FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。
- 本機（SDHC 対応機器）は SD メモリーカード/SDHCメモリーカード両方に対応しています。SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。（SDHC メモリーカードを他機でお使いの場合は、必ずその機器の説明書をお読みください）
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。動画撮影には高速タイプのSDメモリーカード/SDHCメモリーカードを使用することをおすすめします。（P84）

■ カードの取り扱いについて

大切なデータはパソコン（P127）などにも保存してください。電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりカードのデータが壊れたり消失することがあります。

- パソコンやその他の機器でフォーマットされた場合、もう一度本機でフォーマットしてください。（P126）

■ miniSD カード(別売)について

- miniSDカードを本機で使用する場合は、専用の miniSD アダプターを必ず装着してお使いください。
- miniSD アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。
必ず、miniSD カードを入れてお使いください。

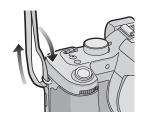
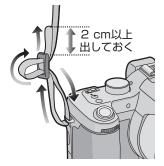
レンズキャップ・ストラップを付ける

■ レンズキャップ(付属)を付ける

1 レンズキャップを付ける

- 電源を[OFF]にしているときや持ち運ぶとき、撮影した画像の再生中は、レンズ面の保護のため、レンズキャップを取り付けてください。
- レンズキャップを外して撮影してください。
- レンズキャップの紛失にお気をつけください。

■ ストラップ(付属)を付ける

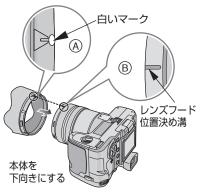
1 ストラップ取付部にとおす

2 留め具にとおして留める

- ねじれないように、もう片方も付けてください。

- ストラップがしっかり付けられていることを確認してください。
- LUMIX のロゴが外側になるように付けてください。

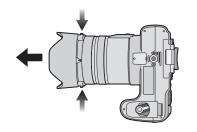
レンズフードを付ける

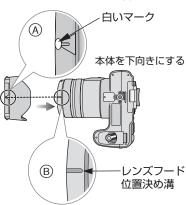
つづく

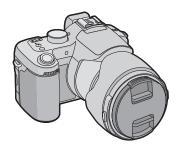
日差しの強い中、逆光時にゴーストやフレアを軽減します。余分な光をさえぎり、より美しく撮れます。
- 電源が [OFF] になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

1 レンズフードの白いマーク Ⓐ を本体のレンズフード位置決め溝 Ⓑに合わせて、カチッと音がするまでまっすぐ挿入する

- レンズフードが確実に装着されていることを確認してください。

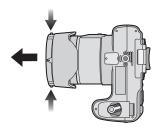
レンズフードを外す場合

ロック解除ボタンを軽くつまみながら、まっすぐ引き抜く

■一時的にレンズフードを外して運ぶ場合(仮収納)

1 レンズフードを外して向きを逆にし、レンズフードの白いマーク Ⓐ を本体のレンズフード位置決め溝 Ⓑ に合わせて、カチッと音がするまでまっすぐ挿入する

- レンズフードが確実に装着されていることを確認してください。
- レンズフード位置決め溝を中心に、右または左に軽く回転させながら挿入すると入れやすくなります。

2 レンズキャップを付ける

- レンズキャップがしっかり付いていることを確認してください。
- 仮収納時は、確実にレンズフードが付いていることを確認して、画像にレンズフードが映っていないことを確認してください。
- 仮収納時は、レンズキャップを外して撮影できますが、ズームリング、フォーカスリング、[FOCUS] ボタン、フォーカス切換スイッチは使用できません。

レンズフードを外す場合

ロック解除ボタンを軽くつまみながら、まっすぐ引き抜く

- 強くつまみすぎると外れにくい場合があります。

- レンズフードのマークとレンズフード位置決め溝がきちんと合っていないと、レンズフードは正しく装着されていませんので、レンズフードがしっかり付いていることを必ず確認してください。
- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードにさえぎられ、画面の下が暗く（ケラレ）なり、調光もできなくなります。
  レンズフードを外して使用することをおすすめします。
- 暗いところで AF 補助光を使用するときは、レンズフードを外してください。
- MC プロテクターと ND フィルターの取り付けかたについては 136 ページをお読みください。
- レンズフードを付けているときは、コンバージョンレンズまたはクローズアップレンズの取り付けはできません。
- 付属品をなくされたときは、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口（P165 ～ 167 ）にお問い合わせください。

液晶モニターについて

つづく

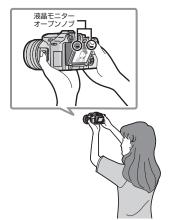
液晶モニターの角度を調節することにより、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

■ 通常撮影時

- 液晶モニター/ ファインダーの切り換えが可能です。

■ ハイアングル撮影時

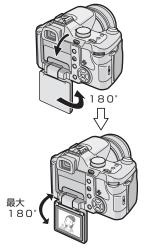
液晶モニターオープンノブに指をかけて、液晶モニターを引き出す

- 液晶モニターのみ使用できます。

- 前に人がいて、被写体に近づけないときなどに便利です。

■ ローアングル撮影時

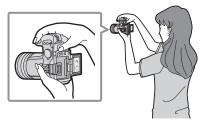
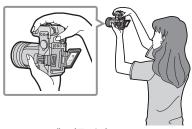
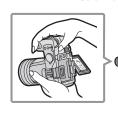
液晶モニターオープンノブに指をかけて手前に引き、180゜回転させる

- 液晶モニターのみ使用できます。

液晶モニターの回転方向

- 低い位置にある花などを撮影するときなどに便利です。

■ 縦撮影時

液晶モニターオープンノブに指をかけて、手前に最後まで（180°）引き、見やすい角度に回転させる。（最大 270°まで回転可能）

通常撮影時

ハイアングル撮影時

ローアングル撮影時

- 液晶モニターが点灯しているときに、液晶モニターを内側に収納した場合、自動的にファインダーに切り換わります。
- ファインダーが点灯しているときでも、液晶モニターを開くと、自動的に液晶モニターに切り換わります。
- **液晶モニターは十分開いてから回転させ、無理な力を加えないようお気をつけください。故障の原因になります。**
- 液晶モニターの周囲を持つと、液晶モニターにムラが発生しますが、故障ではありません。また、撮影画像や再生画像にも影響はありません。
- 液晶モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のため液晶モニターを内側に収納しておくことをおすすめします。

- **三脚使用時、三脚によっては、液晶モニターがスムーズに開閉・回転できない場合があります。このような場合は、本機を三脚から取り外し、液晶モニターを開閉・回転させてください。**

■ ファインダーについて

動いているものや、屋外で撮影するときに便利です。

- 視度調整については、49 ページをお読みください。

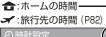
- ファインダーを使用する場合は、液晶モニターを必ず収納してください。
- 液晶モニターを開いた状態では、ファインダーは使用できません。

時計を設定する

■ お買い上げ時は･･･

時計設定はされていませんので、電源を［ON］にすると、下のような画面が表示されます。

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ で年月日、時刻、表示の順番を合わせる

◀/▶：合わせたい項目（年・月・日・時・分・表示順）を選ぶ

▲/▼：年月日、時刻、表示順を設定する

- 表示順を変えると、以下のように表示されます。

（例;2006年12月1日10時00分）

［年/月/日］:2006.12.1 10:00

［日/月/年］:10:00 1.DEC.2006

［月/日/年］:10:00 DEC.1.2006

- ［🗑］ボタンを押すと、時計を設定せずに中止できます。
- 旅行先の時間［✈］を設定する場合は、ワールドタイム（P82）をお読みください。

3 [MENU/SET] ボタンを数回押してメニューを終了する

- 時計設定終了後、一度電源を［OFF］にしてからもう一度［ON］にして、設定どおり表示されているか確認してください。

時計設定を変更する場合

❶ [MENU/SET] ボタンを押す
❷ ▲/▼ で［時計設定］を選ぶ（P112）
❸ ▶ を押し、手順**2**、**3**の操作で設定する

- セットアップメニュー（P28）でも設定できます。

- 満充電されたバッテリーを挿入して約24時間経過すると、バッテリーを取り出して放置しても、約3ヵ月は時計設定を記憶しています。
- 年は2000年から2099年まで設定できます。時刻は24時間表示です。
- 日付設定を行っていないと、お店にデジタルプリントを依頼するときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。（P120）

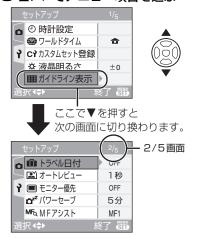
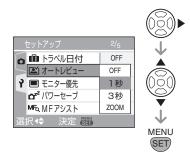
準備

必要に応じて設定する（セットアップメニュー）

- 必要に応じて設定してください。(各項目については29 ～33 ページをお読みください)
- モードダイヤル（P7）で選んでいるモードによって、メニュー項目は異なります。ここでは、プログラム AE モード [P] で、[オートレビュー] を設定する例で説明しています。
- メニュー設定をお買い上げ時の状態に戻すには、[設定リセット] を実行してください。(P32)

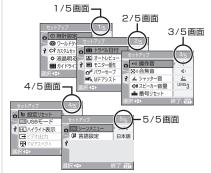
1 [MENU/SET] ボタンを押して、◀ を押す

2 ▼ でセットアップメニューアイコン［ ］を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ でメニュー項目を選ぶ

4 ▶ を押して ▲/▼ で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

- 撮影モード時は、シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ メニュー画面の項目について

- メニュー画面は 1/5 ～ 5/5 画面まであります。
- フロントダイヤルを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

を押してメニューを表示し、セットアップメニュー [] から各項目を選んでください。(P28)

▶ はお買い上げ時の設定です。

項目		設定内容
	時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。(P27)

	ワールドタイム	: 旅行先の地域の時刻を設定 / 表示します。 ▶ : お住まいの地域の時刻を設定 / 表示します。

● ワールドタイムの設定については 82 ページをお読みください。

C	カスタムセット登録	現在のカメラの設定内容をC1/C2/C3のいずれかに登録します。(P69)

	液晶明るさ / ファインダー明るさ	液晶（液晶モニターに表示されている場合）またはファインダー（ファインダー内に表示されている場合）の明るさを 7 段階で調整できます。

	ガイドライン表示	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。 また、ガイドライン表示時に、撮影情報やヒストグラムを合わせて表示する / 表示しないを設定します。(P48) **撮影情報：** ▶ OFF / ON **ヒストグラム：** ▶ OFF / ON **パターン：** ▶ /

	トラベル日付	▶ **OFF:** 旅行の経過日数を記録しません。 **設定：** 旅行の経過日数を記録します。

● トラベル日付の設定については 80 ページをお読みください。

MENU/SET を押してメニューを表示し、セットアップメニュー [ ] から各項目を選んでください。(P28)

項目		設定内容
	オート レビュー	▶ 1秒： 撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。 3秒： 撮影後に撮影画像が約 3 秒間表示されます。 ZOOM： 撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。そのあと、4 倍に拡大された画像が約 1 秒間表示されます。ピントの確認に便利です。オートブラケット撮影、連写、音声付き静止画は、[ZOOM] に設定していても拡大されません。 OFF： 撮影後に撮影画像が自動的に表示されません。

- 動画撮影モード [ ] 時は、オートレビューされません。
- オートブラケット撮影（P58）、連写（P60）時は、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。（拡大はされません）
- オートレビューの設定にかかわらず、音声付き静止画は、記録中（P98）にオートレビューされます。（拡大はされません）
- クオリティを [RAW] に設定して撮影したときは、カード記録終了までオートレビューされます。（拡大はされません）
- オートブラケット撮影、連写、動画撮影モード、音声記録時、クオリティを [RAW] に設定しているときは、オートレビューの設定はできません。
- [ハイライト表示](P32) を [ON] に設定していると、オートレビュー時に白とびの起こっている部分が黒く点滅します。

	モニター優先	ON: 撮影モードでファインダーを選択していた場合、レビュー時や再生時に自動的に液晶モニター表示に切り換わります。（P49） ▶ OFF: 自動的に切り換わりません。

	パワーセーブ	1分 /2 分 / ▶ 5 分 /10 分：設定した時間の間に何も操作しないと、パワーセーブモード（電源を自動的に切り、バッテリーの消耗を防ぐ）になります。 OFF: パワーセーブモードになりません。

- パワーセーブを解除するには、シャッターボタンを半押しするか、または電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。
- AC アダプター（別売：DMW-AC7）使用時、パソコン接続時、プリンター接続時、動画撮影 / 再生時、スライドショー中はパワーセーブは働きません。（ただし、スライドショー一時停止中または [MANUAL] スライドショー中は、10 分固定でパワーセーブが働きます）

を押してメニューを表示し、セットアップメニュー [ ] から各項目を選んでください。(P28)

つづく

	項目	設定内容
MF	MF アシスト（撮影モードのみ）	マニュアルフォーカス時に、液晶モニター / ファインダーの中央部が拡大され、ピントを合わせやすくなります。（P66） ▶ [MF1]： 画面中央部が拡大表示されます。画面全体の構図を決めながら、ピントを合わせることができます。 [MF2]： 画面全体が拡大表示されます。ピントの動きがわかりにくい W 端でのピント合わせに便利です。 [OFF]： 拡大表示されません。

	操作音	：操作音なし ▶ ：操作音小 ：操作音大

	合焦音	：操作音なし ▶ ：操作音小 ：操作音大

	シャッター音	：シャッター音なし ▶ ：シャッター音小 ：シャッター音大

	スピーカー音量	スピーカーの音量を LEVEL6 ～ 0 の 7 段階に調整できます。（▶ LEVEL 3）

- テレビと接続したとき、テレビのスピーカーの音量は変わりません。

	番号リセット	次に撮影される画像のファイル番号を 0001 から記録したい場合に設定します。（フォルダー番号が更新され、ファイル番号が 0001 から始まります）

- フォルダー番号は 100 ～ 999 まで作成されます。
  フォルダー番号が 999 になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- フォルダー番号を 100 にリセットするには、まずカードをフォーマット（P126）してから、番号リセットを実行し、ファイル番号をリセットしてください。
  そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい] を選んでフォルダー番号をリセットしてください。
- ファイル番号、フォルダー番号について、詳しくは 128 ページをお読みください。

準備

MENU SET を押してメニューを表示し、セットアップメニュー [ ] から各項目を選んでください。(P28)

項目		設定内容
	設定リセット	以下の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 **撮影設定** **セットアップ設定 / カスタムセット登録**

- セットアップ設定をリセットすると、シーンモードの赤ちゃんモード（P77）の誕生日設定やトラベル日付（P80）の旅行の経過日数、ワールドタイム（P82）の設定内容もリセットされます。また、再生メニューの [お気に入り]（P116）は [OFF]、[回転表示]（P117）は [ON] になります。
- フォルダー番号、時計設定の設定内容は変わりません。

USB	USBモード	USB 接続ケーブル（付属）を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB 通信方式を設定します。 ▶ **接続時に選択：** パソコンまたは PictBridge 対応プリンターに接続したときに、[PC] または [PictBridge (PTP)] のいずれかを選択します。 **PC：** パソコンに接続する場合に設定します。 **PictBridge (PTP)：** PictBridge 対応プリンターに接続する場合に設定します。

- [PC] に設定すると、USB の Mass Storage（マス ストレージ）通信方式で接続されます。
- [PictBridge (PTP)] に設定すると、USB の PTP（Picture Transfer Protocol（ピクチャー トランスファー プロトコル））通信方式で接続されます。

HL	ハイライト表示	**ON:** オートレビューまたはレビュー時に、白とびの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。（P49） ▶ **OFF:** ハイライト表示しません。

	ビデオ出力（再生モードのみ）	▶ **NTSC：** ビデオ出力を NTSC 方式にします。 **PAL：** ビデオ出力を PAL 方式にします。（P138）

MENU SET を押してメニューを表示し、セットアップメニュー [ ] から各項目を選んでください。(P28)

	項目	設定内容
	TV アスペクト（再生モードのみ）	16:9 ：画面が 16：9 のテレビと接続する場合に選んでください。 ▶ 4:3 ：画面が 4：3 のテレビと接続する場合に選んでください。

- [16:9] は、アスペクト設定を [16:9] で撮影した画像を 16:9 のテレビで画面いっぱいに表示するときに適しています。このとき、アスペクト設定を [4:3] または [3:2] で撮影した画像には、左右に黒い帯が付いて表示されます。
- [4:3] に設定した場合、アスペクト設定を [16:9] または [3:2] で撮影した画像には、上下に黒い帯が付いて表示されます。
- [16:9] に設定した場合、AV ケーブル（付属）を使って出力すると（P134）、本機の液晶モニターでは画像が縦長に表示されます。

SCN	シーンメニュー	▶ AUTO：モードダイヤルをシーンモードに合わせたとき、シーンモードメニューが自動的に表示されます。お好みのシーンモードを選択してください。 OFF：モードダイヤルをシーンモードに合わせたとき、シーンモードメニューが表示されず、現在選択されているシーンモードで動作します。シーンモードを変更する場合は、[MENU/SET] ボタンを押してシーンモードメニューを表示させてから、お好みのシーンモードを選択してください。

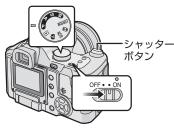
	言語設定	メニュー画面は以下の 2 言語から設定できます。▲/▼ で言語を選び、[MENU/SET] ボタンで決定してください。誤って英語に設定した場合は、メニューアイコンの [ ] を選び言語を設定してください。 ▶ 日本語：　メニュー画面を日本語表記にします。 ENGLISH：　メニュー画面を英語表記にします。

準備

撮影する（P：プログラム AE モード）

モードダイヤルを P に合わせてください。

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。

- レンズキャップを外す。
- 電源を [ON] にする。

- 電源表示ランプ（緑）が点灯します。点滅した場合は、バッテリー残量がありません。満充電されたバッテリーを入れてください。

1 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせ、シャッターボタンを半押しする

- フォーカス表示が点灯し、シャッタースピードと絞り値が表示されます。
- ISO 感度を [I ISO] に設定している場合は、シャッタースピードが表示されません。(P94)
- AFモードを9点または3点高速に設定している場合は、ピントが合うまで AF エリアは表示されません。(P99)
- 暗い場所での撮影時またはデジタルズーム時は、通常よりも大きな AF エリアが表示されます。(P100)
- プログラムシフトについては35 ページをお読みください。

	ピントが合っていないとき	ピントが合ったとき
フォーカス表示	点滅（緑）	点灯（緑）
AF エリア	白→赤 またはAFエリアなし	白→緑
フォーカス音	ピピピピッ	ピピッ

2 シャッターボタンを全押しして撮影する

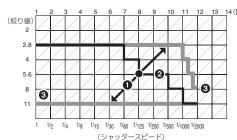
- 撮影前に、時計設定を確認することをおすすめします。(P27)
- シャッターボタンを押すと、一瞬液晶モニターの画面が明るくなったり、暗くなったりする場合があります。これはピントを合わせやすくするためで、記録される画像に影響はありません。
- パワーセーブの時間が設定されているとき（P30）は、設定された時間内に本機の操作をしないと自動的に電源が切れます。再び本機の操作をするときは、シャッターボタンを半押しするか、電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。
- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、[画質調整] の [ノイズリダクション] を [高] にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目を [低] にする（P104）ことをおすすめします。(お買い上げ時の設定では、ISO　感度が [AUTO] になっているため、屋内などの撮影では ISO 感度が高くなります）

■ プログラムシフトについて

プログラム AE で本機が自動的に設定した絞り値とシャッタースピードの組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。プログラム AE での撮影時に、より背景をぼかしたい（絞り値を小さくする）、動きを表現したい（シャッタースピードを遅くする）などの設定が可能です。

- ダイレクト露出補正（P103）を設定していると、ダイヤルの操作方法が変わります。ここでは、ダイレクト露出補正を設定していない例で説明しています。
- シャッターボタンを半押しして、液晶モニター/ ファインダーに絞り値とシャッタースピードの数値が表示されている間に（約 10 秒間）、リアダイヤルを回してプログラムシフトしてください。

- プログラムシフトされている場合は、画面にプログラムシフト表示が出ます。
- プログラムシフトを解除するには、電源を [OFF] にするか、プログラムシフト表示が消えるまで、リアダイヤルを左右に動かしてください。

<プログラムシフトの例>

❶ プログラムシフト量
❷ プログラムシフト線図
❸ プログラムシフト限界

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示されます。
- プログラムシフトが有効になってから、10 秒以上経過すると、プログラムシフト設定可能な状態は解除され通常のプログラム AE に戻りますが、プログラムシフトされた設定は維持されています。
- 被写体の明るさによっては、プログラムシフトできない場合があります。
- ISO 感度を [I ISO] に設定しているときは、プログラムシフトはできません。

基本

上手に撮影するために

■ 本機の構えかたについて

- 両手で本機を軽く持ち、脇を閉め足を開いて構えてください。
- 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ボールや競技者などと衝突する恐れがある場所では周囲に十分お気をつけください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- AF 補助光ランプやマイクなどを指などでふさがないでください。
- レンズ部には触らないでください。
- 太陽光などが液晶モニターに反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってご使用いただくことをおすすめします。

液晶モニターで撮る場合

縦に構える場合

ファインダーで撮る場合

縦に構える場合

■ 縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。([回転表示] (P117) を [ON] に設定している場合のみ)

- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、画像を縦向きに表示できない場合があります。
- 動画再生時、コマ撮りアニメ作成時は、画像を縦向きに表示できません。

■ 撮りたい被写体がAFエリアから外れている場合(AF/AEロック)

下のような構図で人物を撮影したい場合、被写体が AF エリアから外れているので、そのままシャッターボタンを押すだけでは背景などにピントが合ってしまい、被写体にピントが合いません。

このようなときは、

❶ 被写体に AF エリアを合わせる

❷ **シャッターボタンを半押しし、**ピントと露出を固定する

- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。

❸ **シャッターボタンを半押ししたまま、**撮りたい構図に本機を動かす

❹ シャッターボタンを全押しする

つづく

- AF/AE ロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

AF：「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能です。
AE：「Auto Exposure」の略で、被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能です。

■ ピントについて

- **ピントが合う範囲は 30 cm ～∞（W 端時）、2 m ～∞（T 端時）です。近くのものを撮影したい場合は、AF マクロをお使いください。（P61）**
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していてもピントが合っていない場合があります。
- 以下のような場合はピントがうまく合いません。
  - ・遠くと近くのものを同時に撮る
  - ・汚れたガラスの向こうのものを撮る
  - ・キラキラと光るものが周りにある
  - ・暗い場所を撮る
  - ・動きの速いものを撮る
  - ・コントラスト（濃淡）の低いものを撮る
  - ・手ブレしている
  - ・高輝度（非常に明るいもの）を撮る

  置きピン（P67）、FOCUS/AE ロックを使って撮影することをおすすめします。暗い場所では、ピント合わせのために AF 補助光ランプ（P101）が点灯することがあります。
- フォーカス表示が出てピントが合っても、シャッターボタンを離すとピントが解除されます。もう一度半押ししてピントを合わせてください。
- AF 動作中にズームリングを回さないでください。

■ 手ブレを防ぐために

- シャッターボタンを押し込む際の手ブレにお気をつけください。
- シャッタースピードが遅くなり手ブレしやすいときは、手ブレ警告表示が出ます。

- 手ブレ警告表示が出るときは、三脚の使用をおすすめします。または撮る姿勢（P36）にお気をつけください。三脚使用時にはセルフタイマー（P56）またはシャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）を使うと、シャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐことができます。
- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、撮影が終わるまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  - ・赤目軽減スローシンクロ（P52）
  - ・夜景 & 人物モード（P73）／
    夜景モード（P74）／
    パーティーモード（P75）／
    キャンドルモード（P76）／
    花火モード（P76）／
    星空モード（P77）
  - ・シャッタースピードを遅くしたとき（P62、63 ）

■ 露出について

- 適正露出にならない場合は、シャッターボタンを半押ししたときに、絞り値とシャッタースピードの数値の色が赤色になります。（ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません）

- 特に暗い場所での撮影は、液晶モニター / ファインダーの明るさと実際に撮影される画像が異なる場合があります。
- 晴天や雪など、明るい被写体が画像の大半を占めると、暗く撮影される場合があります。その場合は、露出を補正してください。（P57）

■ [FOCUS/AE LOCK]ボタンについて

- 被写体が AF エリアから外れている場合や、被写体のコントラストが強すぎて露出補正が得られない場合などに、あらかじめ合わせたピントや露出を固定して撮ることができます。

- FOCUS/AE ロックについては 102 ページもお読みください。

オートモードで撮る（[A]：オートモード）

つづく

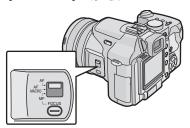
モードダイヤルを [A] に合わせてください。

初心者でも簡単に撮影できます。誤操作の原因になる設定項目がお買い上げ時の設定に固定されるため、失敗が少なく撮影することができます。

■ オートモード時の設定内容

オートモード時は、誤操作による失敗を防ぐため、下記の項目はお買い上げの状態に固定されます。

項目	設定内容
ホワイトバランス（P91）	AUTO
ISO 感度（P94）	[I ISO]
音声記録（P98）	OFF
測光モード（P98）	評価測光
AF モード（P99）	1 点
AF 連続動作（P101）	OFF
AF 補助光（P101）	ON
画質調整（P104）	標準
コマ撮りアニメ（P105）	設定不可
外部フラッシュ（P110）	PRESET/TTL AUTO 自動切換

● フォーカス切換スイッチを [AF] または [AF MACRO] に切り換えてください。

■ 逆光補正機能

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。

このとき、人物など被写体が暗く写ります。

▲ を押すと、[逆光補正アイコン]（逆光補正オン表示）が表示され、逆光補正が働きます。画像全体を明るくすることにより、逆光を補正します。

逆光補正オン表示

● [逆光補正アイコン] が表示されているときに ▲ を押すと、[逆光補正アイコン]が消え、逆光補正が解除されます。
● 逆光補正機能使用時は、フラッシュを使用することをおすすめします。（フラッシュを使用するときは、強制発光 [強制発光アイコン] になります）
● 逆光補正がオフのときに、フラッシュを使用する場合は、赤目軽減オート [赤目軽減オートアイコン] になります。

- フォーカス切換スイッチを [AF] にしていても [AF MACRO] 同様に、W 端で 5 cm まで接近して撮影できます。
- [アスペクト設定]、[記録画素数]、[クオリティ]、[コンバージョン] のオートモードでの設定内容は、他の撮影モードにも反映されます。
- 以下の機能は、オートモードでは使用できません。
  - ・ホワイトバランス微調整
  - ・露出補正
  - ・オートブラケット
  - ・フラッシュ発光量
  - ・デジタルズーム
  - ・カラーエフェクト
  - ・Focus/AE ロック

ズームについて

つづく

光学ズームで撮る

モードダイヤル設定：P A S M C 🎞 SCN 🅰

光学ズーム 12 倍までの範囲で、人や物を大きく撮ったり風景などを広角に撮ることができます。（35 mm ～ 420 mm：35 mm フィルムカメラ換算）

■ 大きく（望遠）撮る

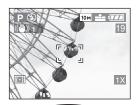
ズームリングを右側へ回す

記録画素数[10M]（10M）設定時

大きく（望遠）撮る

■ 広く（広角）撮る

ズームリングを左側へ回す

記録画素数[10M]（10M）設定時

広く（広角）撮る

- 画像はズーム倍率によってわずかにゆがんで撮影されます。これをディストーション（歪曲収差）といいます。広角にして被写体に近づいて撮影するほどディストーションは大きくなります。
- 画像はズーム倍率によって被写体の輪郭などにわずかに着色して撮影されることがあります。これを色収差といいます。望遠にしたときに色収差は目立つことがあります。
- ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- ズーム倍率はめやすです。
- **ズームリングを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。**

EX 光学ズーム(EZ)で撮る

モードダイヤル設定： P A S M C SCN Ⓐ

通常、光学ズームを使うと 12 倍まで望遠で撮影できますが、各アスペクト(4:3/3:2/16:9)で最大記録画素数以外の記録画素数に設定すると、画質を劣化させずにズーム倍率を最大 21.4 倍まで拡大できます。

EX光学ズームが働かない記録画素数
例：[10M](10M)

12倍

1倍

EX光学ズームが働く記録画素数
例：[3M](3M EZ)

21.4倍

■ EX 光学ズームの仕組み

例えば [3M](3M EZ)(300 万画素相当)に設定すると、CCD の持つ 10M(1000 万画素相当)の領域のうち、3M(300 万画素相当)分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

■ 記録画素数と最大ズーム倍率

アスペクト設定	記録画素数	最大ズーム倍率	EX 光学ズーム
4:3	10M (10M)	12 倍	×
3:2	8.5M (8.5M)		
16:9	7M (7M)		
4:3	8M (8M EZ)	13.4 倍	○
3:2	7M (7M EZ)		
16:9	5.5M (5.5M EZ)		
4:3	5M (5M EZ)	17.1 倍	
3:2	4.5M (4.5M EZ)		
4:3	3M (3M EZ) 2M (2M EZ)	21.4 倍	
3:2	2.5M (2.5M EZ)		
16:9	2M (2M EZ)		

- アスペクト設定については 95 ページ、記録画素数については96 ページをお読みください。
- EZ とは「Ex. optical Zoom」の略で、EX 光学ズームを表します。
- EX 光学ズームは、デジタルズームより画質の劣化を気にすることなく、ズーム倍率を拡大することができます。
- EX光学ズームが働く記録画素数では、ズーム操作をすると、画面に [EZ] が表示されます。
- EX光学ズーム時T端付近でズームリングを動かすと、ズーム倍率の数字が連続して変化しないことがありますが、故障ではありません。
- ズーム倍率はめやすです。
- 以下の場合、EX光学ズームは働きません。
  ・動画撮影モード [動画]
  ・シーンモードの高感度モード

デジタルズームで撮る　さらに拡大する

モードダイヤル設定：P A S M C SCN

撮影メニューで［デジタルズーム］を [2×] または [4×] に設定すると、最大 48 倍まで、また EX 光学ズームが働く記録画素数では (P96)、EX 光学の最大 21.4 倍、デジタル 4 倍の最大 85.5 倍まで拡大が可能になります。

■ メニュー操作について

1 [MENU/SET] ボタンを押す

- シーンモード時は、シーンモードメニュー画面 (P71) で ◀ を押し、▼ で撮影メニューアイコン［ ］を選んで、▶ を押してください。

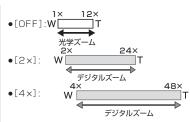
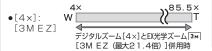
2 ▲/▼ で［デジタルズーム］を選び、▶ を押す

3 ▼ で [2×] または [4×] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ デジタルズーム領域に入るには

撮影メニュー (P90) で [デジタルズーム] を [2×] または [4×] に設定すると、最大 48 倍まで拡大が可能になります。(ただし、EX 光学ズーム時は除く)

■デジタルズームとEX光学ズームを併用することもできます。
例：デジタルズーム[4×]とEX光学ズーム 3M (3M EZ) 併用時

- デジタルズーム領域では、通常よりも大きな中央 1 点の AF エリアが表示されます。(P100)
- デジタルズームは拡大するほど画質が劣化します。
- デジタルズーム領域では、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー (P56) を使って撮影することをおすすめします。
- ズーム倍率はめやすです。
- 以下の場合、デジタルズームが一時的に [OFF] になります。
  - ・オートモード [A] で撮影しているとき (P39)
  - ・クオリティを [RAW] に設定しているとき (P96)
  - ・撮影メニューの [コンバージョン] を [W] 設定しているとき (P107)
- 以下の場合、デジタルズームは働きません。
  - ・シーンモードの高感度モード
  - ・ISO感度を[ISO]に設定しているとき

撮影した画像を確認する（レビュー）

モードダイヤル設定：P A S M C SCN A

撮影モードのままで撮影した画像を確認できます。

1 ▼(REV) を押す

- 最後に撮影した画像が約 10 秒間表示されます。
- シャッターボタンを半押し、または再度▼(REV)を押すとレビューが解除されます。
- ◀/▶ を押すと前後の画像を確認することができます。
- 撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎたりしたときは、露出を補正して撮影してください。（P57）

2 フロントダイヤルを右側に回して画像を拡大する

- フロントダイヤルを右側に回すと 4 倍に、さらに回すと 8 倍になります。拡大したあと、フロントダイヤルを左側に回すと、倍率が小さくなります。

3 ▲/▼/◀/▶で位置を移動させる

- 倍率を変えたり、表示する位置を移動させると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示され、拡大部分の位置を確認することができます。

■ 撮影した画像をレビュー中に削除する(クイック削除)

❶ [🗑] ボタンを押す
❷ ▲ で［はい］を選ぶ
❸ [MENU/SET] ボタンを押す

- 画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。
- 複数・全画像削除もできます。削除の方法については 46 ページをお読みください。

- [回転表示]を[ON]にしていると、本機を縦に構えて撮影したときに、縦向き（回転されて）に表示されます。（P117）

画像を再生する（▶：再生モード）

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。

◀/▶ で画像を送る

◀：前の画像へ　▶：次の画像へ

- 最後に撮影した画像の次は、最初の画像になります。
- [回転表示]を[ON]にしている場合、本機を縦に構えて撮影した画像は縦で再生されます。（P117）

■ 早送り/早戻しをする

再生中に ◀/▶ を押したままにする

◀：早戻し　▶：早送り

- ファイル番号と画像番号のみが1枚ずつ更新されます。再生したい画像の番号が表示されたときに ◀/▶ を離すと、その番号の画像が表示されます。
- しばらく ◀/▶ を押したままにすると、一度に更新される画像の枚数が増加します。（記録枚数によって更新される枚数は異なります）
- 撮影モード時のレビュー再生（P44）や、マルチ再生（P86）では、1 枚ずつしか早送り / 早戻しはできません。

- 本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- 本機で再生できるファイル形式は JPEG です。（JPEG 形式でも再生できないものもあります）
- 本機の液晶モニターでは、撮影画像の細部を表示できない場合があります。再生ズーム（P88）を使うことにより、画像の細部も確認できます。
- 他機で撮影された静止画を再生すると、再生される画像の画質が劣化して表示される場合があります。（画面上に「サムネイル表示」と表示されます）
- パソコンでフォルダー名やファイル名を変更すると再生できない場合があります。
- 規格外のファイルを再生したときは、フォルダー·ファイル番号が [—] で表示され、画面が黒くなる場合があります。

画像を削除する

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。

■ 1 枚削除

1 ◀/▶ で画像を選ぶ

前の画像へ　　次の画像へ

◀ : 前の画像へ　　▶ : 次の画像へ

2 [🗑] ボタンを押す

3 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 画像削除中は、画面に [🗑] が表示されます。

■ 複数/全画像削除

1 [🗑] ボタンを 2 回押す

2 ▲/▼ で [複数削除] または [全画像削除] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [複数削除] を選んだ場合は、47 ページ **3** から操作をしてください。
- [全画像削除] を選んだ場合は、47 ページ **5** から操作をしてください。
- [お気に入り] (P116) を [ON] に設定しているときは、[★以外全削除] が表示されます。
  [★以外全削除] を選んだ場合は、47 ページ **5** から操作をしてください。(ただし、[お気に入り] を [ON] に設定していても、[★] の付いた画像が 1 枚もない場合は、[★以外全削除] を選択できません)

3 ◀/▶ で画像を選び、▼ で設定する（[複数削除] 選択時のみ）

- この手順を繰り返します。
- 設定した画像に［🗑］が表示されます。もう一度 ▼ を押すと設定が解除されます。
- プロテクトされていると、設定した画像に[🔑]アイコンが赤く点滅し、画像削除できません。プロテクト設定を解除してから削除してください。（P121）

4 [🗑] ボタンを押す

5 ▲ で［はい］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

（[複数削除] 選択時の画面）

- [全画像削除]の場合､｢メモリーカード上の全ての画像を削除しますか？」、[★以外全削除] の場合、[★以外の全ての画像を削除しますか？]とメッセージが表示されます。
- [全画像削除]または[★以外全削除]中に[MENU/SET]ボタンを押すと、途中で削除が中止されます。

- 画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。
- 削除中は電源を[OFF]にしないでください。
- 削除するときは、十分に充電されたバッテリー（P18）または AC アダプター（別売：DMW-AC7）を使用してください。
- [複数削除]で一度に削除できるのは50枚までです。
- 枚数が多ければ多いほど、削除するのに時間がかかります。
- 以下の場合は､[全画像削除]または[★以外全削除] をしても削除されません。
  ·SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしている場合（P21）
  · DCF 規格外のファイル（P45）
  · プロテクト [🔑] された画像（P121）

液晶モニター/ファインダーの表示を切り換える

表示情報を切り換える

液晶モニターとファインダーを切り換える

[EVF/LCD] ボタンを押して切り換えてください。

- 液晶モニターが点灯しているときは、ファインダーは消灯し、ファインダーが点灯しているときは、液晶モニターは消灯します。

ファインダー
[EVF/LCD] ボタン
[DISPLAY] ボタン
液晶モニター

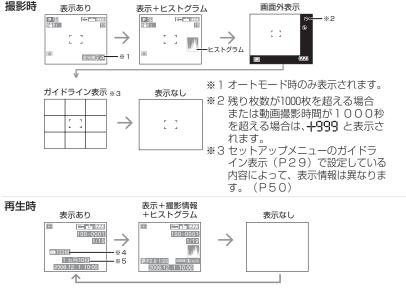
表示を切り換える

[DISPLAY] ボタンを押して切り換えてください。

- メニュー画面表示時は [DISPLAY] ボタンは働きません。再生ズーム時（P88）および動画再生中（P89）、スライドショー実行中（P114）は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

※1 オートモード時のみ表示されます。

※2 残り枚数が1000枚を超える場合または動画撮影時間が1000秒を超える場合は、+999 と表示されます。

※3 セットアップメニューのガイドライン表示（P29）で設定している内容によって、表示情報は異なります。（P50）

※4 トラベル日付（P80）を設定している場合は、経過日数が表示されます。

※5 シーンモードの赤ちゃんモード（P77）で誕生日設定をし、月齢/年齢ありで撮影した場合に表示されます。

- シーンモードの夜景 & 人物（P73）、夜景（P74）、花火（P76）、星空（P77）では、ガイドラインはグレーで表示されます。

つづく

■ **画面外表示について**

撮影画面の外部に撮影情報が表示されますので、露出情報などにより画面をさえぎられることなく、被写体に集中して撮影することができます。

■ **視度調整について**

使う前に、視力に合わせてファインダー内の表示がよく見えるようにします。

- [EVF/LCD]ボタンを押してファインダーを表示させておく。

ファインダー内の表示を見て、はっきり合うところまで視度調整ダイヤルを回して調整する

■ **モニター優先について**

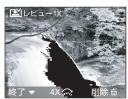
セットアップメニューの [モニター優先]（P30）を [ON] に設定すると、以下のような場合に液晶モニターが点灯します。

ファインダーを点灯させて撮影したときでも液晶モニターに切り換える手間がなくなります。

- 撮影モードから再生モードに切り換えたとき
- レビューしたとき（P44）
- 再生モードで電源を入れたとき

■ **ハイライト表示について**

セットアップメニューの [ハイライト表示]（P32）を [ON] に設定すると、オートレビューまたはレビュー時に、白とびの起こっている部分（極端に明るい場所、光っている場所など）を黒と白の点滅で表示します。

ハイライト表示なし

ハイライト表示あり

- ヒストグラムを参考に、露出をマイナス方向に補正して再度撮影すると良い結果が得られます。
- フラッシュ撮影時、被写体からの距離が近すぎると白とびが起きる場合があります。

応用

■ 屋外で液晶モニターを見やすくする(パワーLCD 機能)

[DISPLAY]ボタンを1秒間以上押したままにすると、パワーLCD 機能が働き、液晶モニターの画面が通常よりも明るくなり、屋外でも見やすくなります。

- パワーLCD の液晶モニターの画面が、撮影時、30 秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。
- [DISPLAY] ボタンを再度 1 秒間押したままにすると、パワー LCD 機能が解除され、通常の明るさに戻ります。
- パワー LCD 機能は、液晶モニターに表示される画像の明るさと色の濃さを強調しています。被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。

■ ガイドライン表示について

被写体の交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

⊞選択時

⊞: 画面全体を３等分にして、バランスのよい構図の撮影を行いたい場合に使います。

⊠: 画面の中心に被写体を配置したい場合に使います。

■ ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。
撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

❶ 中央を中心とした山になっている場合は、暗い部分、中間調、明るい部分がバランスよく分布し、撮影するのに適した画像となります。
❷ 極端に左に寄っている場合は、暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像となります。夜景など黒いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。
❸ 極端に右に寄っている場合は、明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像となります。白いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

ヒストグラムの表示例

❶ 適正な明るさの画像

ヒストグラム

❷ 暗い画像

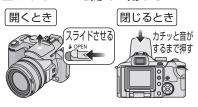
❸ 明るい画像

- **撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合はヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
  - 露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが± 0EV 以外のとき
  - フラッシュが発光するとき
  - シーンモードの花火（P76）、星空（P77）のとき
  - フラッシュが閉じているとき
    - 暗いところで、液晶モニター / ファインダーの明るさが正確に表示できないとき
    - 適正露出にならないとき
- 撮影時のヒストグラムはめやすです。
- 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。
- 白とびは、オートレビューまたはレビュー時のハイライト表示で確認してください。（P49）
- 以下の場合、ヒストグラムは表示されません。
  - ・動画撮影モード [ ]
  - ・マルチ再生時
  - ・再生ズーム時
  - ・カレンダー再生時

内蔵フラッシュを使って撮る

モードダイヤル設定：P A S M C SCN A

フラッシュを設定をすると、撮影状況に応じて内蔵フラッシュを使って撮影できます。

■ フラッシュを開く / 閉じる

● 使わないときは、フラッシュは必ず閉じておいてください。
● フラッシュが閉じているときは、発光禁止 [⊘] に固定されます。

■ フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 ▶（⚡）を押す

2 ▲/▼ でモードを選ぶ

● ▶（⚡）でも選択することができます。
● 選択できる内蔵フラッシュ設定については、53 ページの「撮影モード別フラッシュ設定」をご覧ください。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

● **シャッターボタン半押しでも終了できます。**
● メニュー画面は約 5 秒後に消えます。そのとき、選択されている項目が自動で選ばれます。

項目	設定内容
⚡A： オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
⚡A◉： 赤目軽減 オート※ （白色）	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ● **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。**
⚡： 強制発光 ⚡◉： 赤目軽減 強制発光※	フラッシュを強制的に発光させます。 ● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。** ● **シーンモードのパーティー（P75）、キャンドル（P76）時のみ、赤目軽減強制発光になります。**
⚡S◉： 赤目軽減 スロー シンクロ※ （オレンジ色）	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**
⊘： 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

※フラッシュが 2 回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

つづく

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
(○ : 設定可、× : 設定不可)

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	⊘
P	○	○	○	○	×	○
A	○	○	○	○	×	○
S	○	○	○	×	×	○
M	○	○	○	×	×	○
A	×	○※	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	×	×	×	○	×	○
	×	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	○
	×	×	×	○	○	○
	×	×	×	○	○	○
	×	×	×	×	×	○
	×	×	×	×	×	○
1	○	○	○	×	×	○
2	○	○	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	○

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。
  変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。

※逆光補正をオン時は設定できません。

■ フラッシュで撮影できる範囲

フラッシュで撮影できる範囲は、ISO感度の設定によって異なります。

ISO 感度	フラッシュ撮影可能範囲	
	W 端時	T 端時
AUTO	約 30 cm ～ 約 7.4 m	約 30 cm ～ 約 5.6 m
I ISO	約 30 cm ～ 約 7.4 m	約 30 cm ～ 約 5.6 m
ISO100	約 30 cm ～ 約 3.7 m	約 30 cm ～ 約 2.8 m
ISO200	約 40 cm ～ 約 5.2 m	約 40 cm ～ 約 3.9 m
ISO400	約 60 cm ～ 約 7.4 m	約 60 cm ～ 約 5.6 m
ISO800	約 80 cm ～ 約 7.4 m	約 60 cm ～ 約 5.6 m
ISO1600	約1 m15 cm～ 約 7.4 m	約 90 cm ～ 約 5.6 m

- ISO感度については94 ページをお読みください。
- ピントが合う範囲については37 ページをお読みください。
- フラッシュ使用時はISO感度を[AUTO]または [I ISO] に設定すると、自動的に最大 [ISO400] まで高くなります。
- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、[画質調整] の [ノイズリダクション] を [高] にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目を [低] にして撮影することをおすすめします。(P104)
- 動画撮影モード [ ] (P84)、シーンモードの風景 (P73)、夜景 (P74)、花火 (P76)、星空 (P77)、高感度 (P79) のときは、フラッシュを開けていても発光禁止 [ ] に固定されます。

■フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A ：オート	1/30～1/2000秒
⚡A◎ ：赤目軽減オート	1/30～1/2000秒
⚡ ：強制発光 ⚡◎ ：赤目軽減強制発光	1/30～1/2000秒
⚡S◎ ：赤目軽減スローシンクロ	1 ～ 1/2000 秒
⊛ ：発光禁止	1 ～ 1/2000 秒 (プログラムAEモード時)

- 絞り優先 AE、シャッター優先 AE、マニュアル露出については、65 ページをお読みください。
- シーンモードでは、上記設定と異なる場合があります。
  - ・夜景モード（P74）：8 ～ 1/2000 秒
  - ・花火モード（P76）：1/4 秒、2 秒
  - ・星空モード（P77）：15秒、30秒、60秒

■フラッシュの発光量を調整する

被写体が小さい、反射率が極端に高い、低いときは、フラッシュの発光量を調整してください。

1 ▲( ) ボタンを数回押し、[フラッシュ発光量調整] を表示させ、◀/▶ でフラッシュの発光量を決める

- フラッシュ発光量を調整しない場合は、“0” を選んでください。

2 [MENU/SET] ボタンを押して終了する

- −2 EVから+2 EVの範囲で 1/3 EVごとに調整できます。
- フラッシュ発光量が調整されているときは、画面左上にフラッシュ発光量調整値が表示されます。
- 設定したフラッシュ発光量は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
- 以下の場合、フラッシュ発光量調整はできません。
  - ・オートモード [A]
  - ・動画モード [ ]
  - ・シーンモードの風景、夜景、花火、星空、高感度
- 撮影メニューの [ダイレクト露出補正]（P103）を [ON] にすると、直接フロントダイヤルまたはリアダイヤルでフラッシュ発光量を調整することができます。

- **近くでフラッシュ発光部を直接見ないでください。**
- **フラッシュに物を近づけたり、発光中にフラッシュを閉じないでください。熱や光で変形、変色する場合があります。**
- **フラッシュ発光部を指などでふさがないでください。**
- フラッシュが発光する場合、シャッターボタンを半押ししたときにフラッシュアイコンが赤に変わります。
- 手ブレ警告表示が出ているときは、三脚の使用をおすすめします。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが（晴天 [☼]、フラッシュ [⚡WB] は除く）、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。（P91）
- シャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュが発光しても撮影できない場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- **レンズフードが付いた状態でフラッシュ撮影すると、フラッシュの光がフードでさえぎられることがあります。**
- 赤目軽減オートなどの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。
- コンバージョンレンズ（別売）またはクローズアップレンズ（別売）使用時は、内蔵フラッシュは発光禁止 [⊘] に固定されます。
- 連写およびオートブラケット撮影時でフラッシュが発光する場合、1 枚しか撮影できません。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。外部フラッシュについては、110 ページをお読みください。
- 専用フラッシュライト（別売：DMW-FL500/DMW-FL360）を 使 うと、フラッシュ発光量調整や撮影モード別フラッシュ設定を使うことができます。

セルフタイマーを使って撮る

モードダイヤル設定：P A S M C SCN A

1 ◀(セルフタイマー) を押す

2 ▲/▼ でモードを選ぶ

- ◀(セルフタイマー) でも選択することができます。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**
- メニュー画面は約 5 秒後に消えます。そのとき、選択されている項目が自動で選ばれます。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10 秒（または 2 秒）後に撮影動作が開始されます。

- セルフタイマー動作中に [MENU/SET] ボタンを押すと、セルフタイマー設定が解除されます。

- セルフタイマーを 2 秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのために AF 補助光（P101）として明るく点灯することがあります。
- 連写のときにセルフタイマーを設定すると、10 秒または 2 秒後に連写を行います。連写枚数は 3 枚に固定されます。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。（三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください）

露出を補正して撮る

モードダイヤル設定：P A S C [動画] SCN

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出オーバー

露出をマイナス方向に補正してください。

適正露出

露出をプラス方向に補正してください。

露出アンダー

1 ▲([露出補正アイコン]) を押し、[[露出補正アイコン] 露出補正] を表示させ、◀/▶ で露出を補正する

- −2 EV から +2 EV の範囲で 1/3 EV ごとに補正できます。
- 露出を補正しない場合は、“0 EV” を選んでください。

2 [MENU/SET] ボタンを押して終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

- EV とは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化すると EV が変化します。
- 露出補正値は、画面左下に表示されます。
- 設定した露出補正量は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの星空モードでは露出補正できません。
- 撮影メニューの [ダイレクト露出補正]（P103）を [ON] にすると、直接フロントダイヤルまたはリアダイヤルで露出補正をすることができます。

応用

露出を自動的に変えながら撮る (オートブラケット撮影)

モードダイヤル設定：P A S M C SCN

1 回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に 3 枚撮影します。露出が異なる 3 枚の画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

オートブラケット ±1 EVの場合

±0 EV

1枚目

－1 EV

2枚目

＋1 EV

3枚目

1 ▲( ) を数回押し、[オートブラケット] を表示させ、◀/▶で露出の補正幅を設定する

- 0 (OFF) 、±1/3 EV、±2/3 EV、±1 EV から選択できます。
- オートブラケット撮影をしない場合は、“0” (OFF) を選んでください。

2 [MENU/SET]ボタンを押して終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

- オートブラケットを設定すると、画面に[ ] が表示されます。
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面左下に露出補正値が表示されます。
- 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。
- オートブラケットを設定すると、オートレビューの設定にかかわらずオートレビューされます。（拡大はされません）セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。
- オートブラケットを設定すると、音声付き静止画を撮影できません。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- クオリティを[RAW]に設定すると、オートブラケット撮影できません。
- シャッター優先 AE またはマニュアル露出時は、シャッタースピードが 1 秒より長くなると、オートブラケットが無効になります。
- フラッシュが発光するときや記録可能枚数が 2 枚以下のときは、1 枚しか撮影できません。
- オートモード [A] またはシーンモードの星空モードでは、オートブラケットの設定ができません。
- ISO感度を[I ISO]に設定すると、オートブラケットは使えません。
- 撮影メニューの [ダイレクト露出補正] (P103) を [ON] にすると、直接フロントダイヤルまたはリアダイヤルで露出の補正幅を設定することができます。

手ブレを補正して撮る

モードダイヤル設定：P A S M C [動画] SCN [A]

手ブレを感知して補正します。

1 手ブレ補正モード選択メニューが表示されるまで、手ブレ補正ボタンを押したままにする

2 ▲/▼で手ブレ補正モードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[MODE1] [手ブレ補正1]：
撮影モード時、常に手ブレを補正します。望遠などで構図を決めて撮影するときに安定して撮ることができます。

[MODE2] [手ブレ補正2]：
シャッターボタンを押すと手ブレを補正します。より高い補正効果が得られます。

[OFF] [手ブレ補正OFF]：
意図的にブレのある画像を撮影したいときなどに設定します。

■ 手ブレ補正デモについて（デモンストレーション）

▶ を押すと、手ブレ補正デモが表示され、終了すると手ブレ補正モード選択メニューに戻ります。途中で終了する場合は、▶ を押してください。
手ブレ補正デモ表示中は、撮影はできません。
W 端（1 倍）でご使用ください。

[メモ]

- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - ・手ブレが大きいとき
  - ・ズーム倍率が高いとき
  - ・デジタルズーム領域
  - ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき

  シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
- シーンモードの星空モード（P77）では [OFF] に固定され、手ブレ補正モード選択メニューは表示されません。
- 以下の場合は、[MODE2] に設定できません。
  - ・動画撮影モード [動画]
  - ・シーンモードの流し撮りモード

連写する

モードダイヤル設定：P A S M C SCN A

1 連写モード選択メニューが表示されるまで、単写・連写切換ボタンを押したままにする

2 ▲/▼ でモードを選ぶ

● 単写・連写切換ボタンでも選択することができます。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

● **シャッターボタン半押しでも終了できます。**
● メニュー画面は約 5 秒後に消えます。そのとき、選択されている項目が自動で選ばれます。

4 撮影する

● シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。

■ 連写枚数

		H（高速）	L（低速）	∞（フリー）
連写速度		2 コマ / 秒※	1 コマ / 秒※	約 1 コマ / 秒
連写枚数	ファイン	最大 3 コマ		カードの空き容量による
	スタンダード	最大 5 コマ		

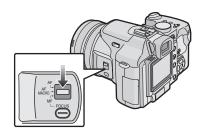
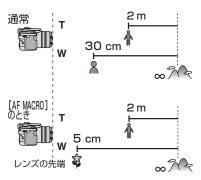
※カードの転送速度に関係なく、連写速度は一定です。
● 左記の連写速度は、シャッタースピードが 1/60 より速く、フラッシュを発光させないときの値です。
● 暗いところなど、撮影環境によっては、連写速度（コマ / 秒）が遅くなる場合があります。

● **フリー連写について**
・カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
・途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは記録画素数やカードによって異なります。
● ピントは 1 枚目で固定されます。
● 露出、ホワイトバランスは、連写設定によって変わります。高速 [H] 設定時は、最初の 1 枚に対する設定に固定されます。低速 [L] およびフリー [∞] 設定時は、1 枚ごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
● セルフタイマー使用時の連写枚数は、3 枚に固定されます。
● 連写設定は、電源を入れ直しても記憶しています。
● 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。
● 連写を設定すると、オートレビューの設定にかかわらずオートレビューされます。（拡大はされません）セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。
● 連写設定していると、音声付き静止画を撮影できません。
● フラッシュが発光するときは、1 枚しか撮影できません。
● 以下の場合は、連写設定できません。
・クオリティが [RAW]
・シーンモードの星空モード

接近して撮る（AF マクロ）

モードダイヤル設定：P A S M C [動画] [A]

花などをアップにして撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角（W 端 :1 倍）にすると、レンズから 5 cm まで接近して撮影できます。

フォーカス切換スイッチを [AF MACRO] に合わせる

■ ピントの合う範囲

- 三脚を使用し、セルフタイマー（P56）を使って撮影することをおすすめします。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲（被写界深度）が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- AF マクロ時は近距離側を優先するため、被写体が 1 m 以上離れている場合は、[AF] 時よりピントが合うのに時間がかかります。
- フラッシュで撮影できる範囲は、約 30 cm ～約 7.4 m です。（W 端、[ISO AUTO] 設定時）近距離を撮影する場合は、フラッシュを発光禁止 [] にすることをおすすめします。
- 近距離を撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。

絞り / シャッタースピードを決めて撮る（A：絞り優先 AE/S：シャッター優先 AE）

モードダイヤルを A に合わせてください。

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 フロントダイヤルを左右に回して絞り値を設定する

2 撮影する

モードダイヤルを S に合わせてください。

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 リアダイヤルを左右に回してシャッタースピードを設定する

2 撮影する

- ダイレクト露出補正（P103）を設定していると、ダイヤルの操作方法が変わります。ここでは、ダイレクト露出補正を設定していない例で説明しています。
- 設定可能な絞り値とシャッタースピードについては、65 ページをお読みください。
- 液晶モニター / ファインダーの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。レビューまたは再生モードで確認してください。
- ISO感度を[AUTO]または[I ISO]に設定することはできません。([AUTO]から絞り優先AEまたはシャッター優先AEに切り換えた場合は、自動的に[ISO100]になります)
- シャッター優先 AE のときは、赤目軽減スローシンクロ [⚡S◎] の設定はできません。
- 明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- 絞り優先 AE のとき、明るすぎる場合は絞り値を大きくし、暗すぎる場合は絞り値を小さくしてください。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚を使うことをおすすめします。

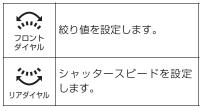
手動で露出を合わせて撮る（M：マニュアル露出）

つづく

モードダイヤルを M に合わせてください。

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して露出を決定します。

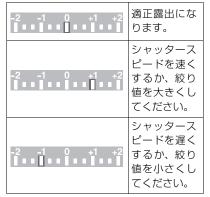
1 フロントダイヤル、リアダイヤルを左右に回して、絞り値とシャッタースピードを設定する

フロントダイヤル	絞り値を設定します。
リアダイヤル	シャッタースピードを設定します。

2 シャッターボタンを半押しする

- 露出の状態のめやすを示す、マニュアル露出アシストが約 10 秒間表示されます。
- 適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードを設定し直してください。

3 撮影する

■ マニュアル露出アシストについて

-2 -1 0 +1 +2	適正露出になります。
-2 -1 0 +1 +2	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
-2 -1 0 +1 +2	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストはめやすです。レビューで確認しながら撮影することをおすすめします。

応用

- 設定可能な絞り値とシャッタースピードについては、65 ページをお読みください。
- 液晶モニター / ファインダーの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。レビューまたは再生モードで確認してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- マニュアル露出のとき以下の設定はできません。
  - ・フラッシュの赤目軽減スローシンクロ [⚡S◎]（P52）
  - ・ISO 感度を [AUTO] または [I ISO] に設定（P94）（[AUTO] または [I ISO] からマニュアル露出に切り換えた場合は、自動的に [ISO100] になります）
  - ・露出補正（P57）

シャッタースピードと絞り値について

■ シャッター優先 AE

設定可能なシャッタースピード（秒）（1/3 EV ごと）				本機で設定される絞り値
8	6	5	4	F2.8 ～ F11.0
3.2	2.5	2	1.6	
1.3	1	1/1.3	1/1.6	
1/2	1/2.5	1/3.2	1/4	
1/5	1/6	1/8	1/10	
1/13	1/15	1/20	1/25	
1/30	1/40	1/50	1/60	
1/80	1/100	1/125	1/160	
1/200	1/250	1/320	1/400	
1/500	1/640	1/800	1/1000	
1/1300				F4.0 ～ F11.0
1/1600				F5.6 ～ F11.0
1/2000				F8.0 ～ F11.0

■ 絞り優先 AE

設定可能な絞り値（1/3 EV ごと）			本機で設定されるシャッタースピード（秒）
F8.0 ～ F11.0			8 ～ 1/2000
F7.1	F6.3	F5.6	8 ～ 1/1600
F5.0	F4.5	F4.0	8 ～ 1/1300
F3.6	F3.2	F2.8	8 ～ 1/1000

■ マニュアル露出

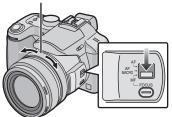
設定可能な絞り値（1/3 EV ごと）	設定可能なシャッタースピード（秒）（1/3 EV ごと）
F2.8 ～ F3.6	60 ～ 1/1000
F4.0 ～ F5.0	60 ～ 1/1300
F5.6 ～ F7.1	60 ～ 1/1600
F8.0 ～ F11.0	60 ～ 1/2000

- 上記表の絞り値は、ズーム W 端時の値です。
- ズーム位置によっては、選べないシャッタースピードと絞り値があります。

手動でピントを合わせて撮る（MF: マニュアルフォーカス）

モードダイヤル設定：P A S M C

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

1 フォーカス切換スイッチを [MF] に合わせる

2 フォーカスリングを回してピントを合わせる

- 画面中央部に MF アシストが表示されます。
- フォーカスリングの操作をやめると、約 2 秒後に MF アシストは消えます。
- セットアップメニューの [MF アシスト]（P31）を [OFF] に設定すると、MF アシストは表示されません。

3 撮影する

■ MF アシストについて

[MF アシスト] を [MF1] または [MF2] に設定したときは、フォーカスリングを回すと、MF アシストとして画面が拡大表示され、ピントを合わせやすくなります。

1 [MENU/SET] ボタンを押して、◀ を押す

2 ▼ でセットアップメニューアイコン［ ］を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で [MF アシスト] を選び、▶ を押す

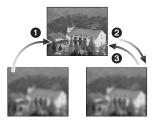
つづく

4 ▲/▼ で [MF1] または [MF2] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

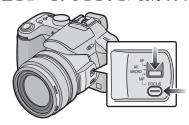
MF1	画面中央部が拡大表示されます。画面全体の構図を決めながら、ピントを合わせることができます。
MF2	画面全体が拡大表示されます。ピントの動きがわかりにくいW 端でのピント合わせに便利です。
OFF	拡大表示されません。

5 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

● シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ マニュアルフォーカスのテクニック

❶ フォーカスリングをゆっくり回す
❷ さらに少し回す
❸ ゆっくり戻しながら微調整する

■ ワンショット AF

フォーカス切換スイッチを[MF]にして[FOCUS] ボタンを押すことにより、オートフォーカスでピントを合わせることができます。
置きピンをするときなどに便利です。

■ 置きピン

流し撮り（P74）などオートフォーカスではピントが合いにくい、動きの速い被写体を撮影する場合に、あらかじめ被写体を撮影するポイントに、ピントを合わせておくテクニックです。
運動会でゴールしてくる子供、結婚式での新郎新婦など、被写体との距離が決まっている場合の撮影に最適です。

■ FOCUS ロック

撮りたい位置でピントを合わせた後、[FOCUS/AE LOCK] ボタンを押すと、ピントを固定することができます。
フォーカスリングが動いてもピントがずれないので便利です。

応用

■ 拡大部分移動について

MF アシストで画面を拡大中に、拡大部分を移動することができます。ピントを合わせる位置を変えたいときに便利です。

❶ フォーカスリングを回す
❷ ▲/▼/◀/▶ で拡大部分を移動する
- 約２秒後に拡大は解除されます。

- 以下の操作を行うと、元の AF エリア位置に戻ります。
  - ・フォーカス切換スイッチを [AF] または [AF MACRO] に切り換えたとき
  - ・記録画素数、アスペクトを変更したとき
  - ・電源を [OFF] にしたとき

- 動画撮影モード [ ] のときも、マニュアルフォーカスで撮影できますが、動画の記録中は拡大表示されません。
- 広角側でピントを合わせると、ズームを望遠側にしたときにピントが合っていない場合があります。再度、合わせ直してください。
- 最終的なピントの確認は、画面 (アシスト画面）で行ってください。
- **動画撮影時、音声記録時、アフレコ時はフォーカスリングやズームリングを回すと、レンズ鏡筒がこすれる音が入る場合があります。**
- パワーセーブ解除後は、必ずピントを合わせ直してください。
- マニュアルフォーカス設定時は、AF 連続動作の設定はできません。(P101)

お好みのメニュー設定を登録する
（C?：カスタムセット登録）

モードダイヤル設定：P A S M C 🎞 SCN iA

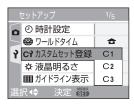
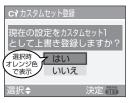
設定する撮影モードと、そのときに設定されていたメニューの内容をすべて一括して [C1]/[C2]/[C3] のいずれかに登録することができます。

あらかじめ、保存したい状態のモードダイヤルに合わせ、本機でメニュー設定をしておいてください。

1 [MENU/SET] ボタンを押して、◀ を押す

2 ▼ でセットアップメニューアイコン［?］を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で [カスタムセット登録] を選び ▶ を押す

4 ▲/▼ で [C1]、[C2] または [C3] のいずれかを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [はい]を選ぶと前に保存していた設定が上書きされます。
- 以下のメニュー項目はすべての撮影モードに反映されるため、保存できません。
  - ・時計設定
  - ・設定リセット
  - ・番号リセット

6 [MENU/SET]　ボタンを押してメニューを終了する

カスタムモードで撮る（C：カスタムモード）

モードダイヤルを C に合わせてください。

あらかじめカスタムセットで保存した登録パターンから、撮影状況などに合わせてカスタムセットを選択することができます。

1 ▲/▼で[C1 SET1]、[C2 SET2]または [C3 SET3] のいずれかを選ぶ

● ▶ を押すと、メニューの設定内容が表示されます。（◀ を押すと選択画面に戻ります）

● 主なメニュー項目のみ表示されます。

2 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

● 選択されているカスタムセット表示が画面に表示されます。

■ メニュー設定を変更する場合は

[C1 SET1]、[C2 SET2]、[C3 SET3]のいずれかを選択した状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。
登録内容を変更する場合は、セットアップメニューの［カスタムセット登録］（P69）で登録内容を上書きしてください。

● シーンモードの赤ちゃんモード（P77）の誕生日設定やトラベル日付（P80）を変更しても、登録はされません。変更した設定を登録したい場合は、セットアップメニューの［カスタムセット登録］より登録し直してください。
● お買い上げ時、[C1 SET1]、[C2 SET2]または [C3 SET3] にはプログラム AE モード［P］での初期設定が登録されています。

シーンモードで撮る（SCN：シーンモード）

つづく

モードダイヤルを SCN に合わせてください。

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

● 各シーンモードについては 72 ～ 79 ページをお読みください。

1 ▲/▼ でシーンモードを選ぶ

ここで▼を押すと
次の画面に切り換わります。

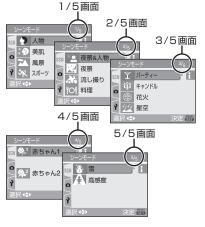
- **シーンモードメニューが表示されていないときは、[MENU/SET] ボタンを押してシーンモードメニューを表示させてください。**
- ▶ を押すと、各シーンモードの説明が表示されます。（◀ を押すとシーンモードメニューに戻ります）

2 [MENU/SET]ボタンを押して決定する

- 選択したシーンモードの撮影画面になります。

■ メニュー画面の項目について

- メニュー画面は 1/5 ～ 5/5 画面まであります。
- フロントダイヤルを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

応用

MENU/SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P71)

- シーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。
- 撮影する画像の明るさを変更したいときは、露出を補正してください。(P57)(ただし、星空モードでは露出を補正できません)
- シーンモードメニュー画面で◀を押し、▲/▼ で撮影メニューアイコン［📷］(P90）またはセットアップメニューアイコン［🔧］(P28）を選ぶとそれぞれの設定ができます。
- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、以下の設定はできません。
  - ・ホワイトバランス
  - ・ISO 感度
  - ・測光モード
  - ・カラーエフェクト
  - ・画質調整

人物モード

背景をぼかし人物を引き立て、肌色を健康的に出します。

■ 撮影のテクニック

- ズームの位置はできるだけ T 側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

- 昼間の屋外での撮影に適しています。

美肌モード

顔や肌の部分を検知し、人物モードより肌の表面を特になめらかに表現します。

■ 撮影のテクニック

- 人物の胸から上を大きく撮りたいときに効果的です。
- ズームの位置はできるだけ T 側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

- 昼間の屋外での撮影に適しています。
- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時になめらかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。

MENU/SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P71)

つづく

風景モード

遠くにある被写体に優先的にピントを合わせ、広がりのある風景を撮影できます。

- フォーカス切換スイッチを [AF] にしてください。
- ピントが合う範囲は 5 m ～∞です。
- フラッシュは発光禁止 [⊛] に固定されます。
- AF 補助光の設定は無効になります。

スポーツモード

スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。

- フォーカス切換スイッチを [AF] にしてください。
- 5 m以上離れた被写体の撮影に適しています。
- 室内での動きの速い被写体を撮影する際は、I ISO 機能によって ISO 感度を自動的にあげて被写体のブレを防ぎます。
- ISO 感度は [I ISO] に固定されます。
- オートブラケットの設定は無効になります。

夜景 & 人物モード

フラッシュを使い、シャッタースピードを遅くすることにより、人物とともに背景も見た目に近い明るさになります。

■ 撮影のテクニック

- **フラッシュをお使いください。**
- シャッタースピードが遅くなるため、三脚を使用し、セルフタイマー (P56) を使って撮影することをおすすめします。
- 被写体の人に、撮影後約 1 秒間は動かないように伝えてください。
- ズームを W 端 (広角) にして、被写体から約 1.5 m ほど離れたところから撮影することをおすすめします。

- ピントが合う範囲は1.2 m～5 mです。(フラッシュの撮影可能範囲については 53 ページをお読みください)
- 使わないときは、必ずフラッシュを閉じておいてください。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま (最大約 1 秒) になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- フラッシュ使用時は、赤目軽減スローシンクロ[⚡S◎]になり、強制発光します。
- AF 連続動作の設定は無効になります。

MENU SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P71)

夜景モード

シャッタースピードを遅くすることにより、夜景が鮮やかになります。

■ 撮影のテクニック

- フォーカス切換スイッチを [AF] にしてください。
- シャッタースピードは最大約8秒になるので、三脚を使用してください。また、セルフタイマー(P56)を使って撮影することをおすすめします。

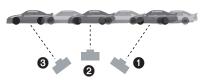
- ピントが合う範囲は 5 m 〜∞です。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約 8 秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- フラッシュは発光禁止[ ]に固定されます。
- AF補助光とAF連続動作の設定は無効になります。

流し撮りモード

ランナーや車のように、一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて本機を振りながら撮影すると、被写体の背景が流れて写ります。この効果を「流し撮り」といいます。このモードに合わせると、流し撮りの効果を得やすくなります。

■ 流し撮りのテクニック

流し撮りを成功させる(被写体に追いついたり、ブレを防ぐ)には、テクニックが必要です。

- 本機だけで追わずに、体を正面に向け、脇をしめ、腰をひねりながら体全体を使って被写体を追いかけてください。
- 被写体が正面に来たときに、シャッターボタンを押してください。シャッターボタンを押すときにも本機の振りを止めないようにしてください。

❶ ファインダーで被写体をとらえ続けるように本機を動かす
❷ 動かしながらシャッターボタンを押す
❸ 途中で止めずにそのまま本機を動かし続ける

を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P71)

つづく

- 以下のことにもお気をつけください。
  - ・ファインダーを使う（P48）
  - ・動きの速い被写体を選ぶ
  - ・置きピン（P67）を使う
  - ・連写（P60）と合わせて撮影する（あとでよい画像を選択）

- 流し撮りモードは、背景を流れやすくするため、シャッタースピードが遅くなります。このため、手ブレが起こりやすくなります。
- 以下のような場合、流し撮りがうまくいきません。
  - ・夏の日中など、明るいところ [ND フィルター（別売：DMW-LND55）を使うことをおすすめします（P136）]
  - ・シャッタースピードが 1/100 より速いとき
  - ・被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅いとき（背景が流れません）
  - ・本機が被写体にうまく追いつけていないとき
- 手ブレ補正は [MODE2] に設定できません。[MODE1] 選択時は、流し撮りモードでは、縦方向のみ手ブレが補正されます。
- AF補助光とAF連続動作の設定は無効になります。

料理モード

レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。

- ピントが合う範囲は 5 cm（W 端時）/ 2 m（T 端時）～∞です。

パーティーモード

結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。
フラッシュを使い、シャッタースピードを遅くすることにより、人物とともに背景も見た目に近い明るさになります。

■ 撮影のテクニック

- **フラッシュを開いてください。**
- シャッタースピードが遅くなるため、三脚を使用し、セルフタイマー（P56）を使って撮影することをおすすめします。
- ズームを W 端（広角）にして、被写体から約 1.5 m ほど離れたところから撮影することをおすすめします。

- フラッシュは、赤目軽減スローシンクロ [⚡S◎] または赤目軽減強制発光 [⚡◎] に設定できます。

MENU/SETを押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P71)

キャンドルモード

ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。

■ 撮影のテクニック

- ろうそくの光を生かして、フラッシュを使わずに使用すると効果的です。
- 三脚を使用し、セルフタイマー（P56）を使って撮影することをおすすめします。

- ピントが合う範囲は 5 cm（W 端時）/ 2 m（T 端時）～∞です。
- フラッシュは、赤目軽減スローシンクロ[S]または赤目軽減強制発光[ ]に設定できます。

花火モード

夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。

■ 撮影のテクニック

打ち上げ花火のシャッターチャンスを逃さないために、次の手順で置きピン撮影することをおすすめします。

❶ フォーカス切換スイッチを [MF] にする（P66）
❷ 花火が上がるのと同じくらいの距離にある、遠くの明かりなどにカメラを向ける
❸ フォーカス表示（P34）が点灯するまで、[FOCUS] ボタンを押す
❹ 花火が打ち上げられる方向に本機を向けて待機する
❺ 花火が打ち上げられたら、シャッターボタンを全押しして撮影する

- ズーム操作をした場合は、フォーカス位置がずれるので、❷ ～ ❺ の操作をやり直してください。
- 三脚を使うことをおすすめします。

- AF 時のピントが合う範囲は５ m～∞です。（上記の ❶ ～ ❺ の手順で置きピン撮影することをおすすめします）
- シャッタースピードは、以下のようになります。
  - ・手ブレ補正 [OFF] 設定時：２秒固定
  - ・手ブレ補正[MODE1]または[MODE2]設定時：
    1/4 秒または２秒（シャッタースピードが２秒になるのは、三脚使用時など、ブレの量が少ないとカメラが判断したときのみです）
- ヒストグラムは、常にオレンジ色で表示されます。（P51）
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- AF補助光とAF連続動作の設定は無効になります。

MENU SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P71)

つづく

星空モード

夜景モードでも撮影できないような星空や暗い被写体を、シャッタースピードをより遅くすることによって鮮明に撮影できます。

■ シャッタースピード設定

シャッタースピードを 15 秒、30 秒、60 秒から選択します。

❶ ▲/▼ で秒数を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

❷ 撮影する

- シャッターボタンを押すとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。
  カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。
- 撮影中に [MENU/SET] ボタンを押すと、撮影が中止されます。

■ 撮影のテクニック

- 15 秒、30 秒、60 秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマー (P56) を使って撮影することをおすすめします。
- あらかじめピントの合いやすい被写体（例えば、明るい星や遠くの明かり）を利用した、置きピン撮影 (P67) することをおすすめします。

- ヒストグラムは、常にオレンジ色で表示されます。(P51)
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- 手ブレ補正は [OFF] に固定されます。
- AF 連続動作の設定は無効になります。
- 星空モードでは、以下の機能が使えません。
  - ・露出補正
  - ・オートブラケット撮影
  - ・連写
  - ・音声記録
  - ・AF 連続動作

赤ちゃんモード1
赤ちゃんモード2

赤ちゃんの肌色を健康的に出します。フラッシュ使用時には、フラッシュの光が通常より弱めに発光します。
赤ちゃんモード1と 2 のそれぞれに、異なる誕生日を設定して使い分けることができます。

- 再生時に赤ちゃんの月齢/年齢を表示できます。
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って月齢/年齢をプリントすることができます。（プリントについては、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください）

■ 月齢/年齢表示設定

- 月齢/年齢を表示したい場合は、あらかじめ誕生日を設定しておき、[月齢/年齢あり]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す。
- 月齢/年齢を表示しない場合は、[月齢/年齢なし]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す。

■ 誕生日設定

❶ ▲/▼ で [誕生日設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
❷「赤ちゃんの誕生日を設定してください」とメッセージが表示されるので、◀/▶ で項目（年月日）を選び、▲/▼ で設定する
❸ [MENU/SET] ボタンを押して終了する

- 誕生日設定をしていないときに［月齢/年齢あり］を選んだ場合は、メッセージが表示されます。[MENU/SET]ボタンを押して上記 ❷、❸ の手順で誕生日設定をしてください。

- ピントが合う範囲は 5 cm（W 端時）/ 2 m（T 端時）～∞です。
- ISO 感度は [I ISO] に固定されます。
- オートブラケットの設定は無効になります。
- 赤ちゃんモードで起動時や他のモードから赤ちゃんモードへ切り換え後に約 5 秒間、月齢/年齢が現在日時とともに画面の下に表示されます。
- 月齢/年齢の表示は、撮影時の言語設定によって異なります。
  - ・日本語に設定しているとき
    0 ～ 11ヵ月（1 歳未満）:
    例）2ヵ月 5 日
    12ヵ月（1 歳）以上：
    例）2 歳 5ヵ月 5 日※
  - ・英語に設定しているとき
    0 ～ 23ヵ月（2 歳未満）:
    例）2 months 5 days
    24ヵ月（2 歳）以上：
    例）2 years 5 months 5 days ※

  ※ CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って表示またはプリントした場合は、「2 歳 5ヵ月」となります。
- 生まれた日は「0 ヵ月0日」と表示されます。
- 月齢/年齢が正しく表示されないときは、時計設定または誕生日設定を確認してください。
- ［月齢/年齢なし］に設定していると、時計設定、誕生日設定をしていても月齢/年齢は記録されません。撮影後に［月齢/年齢あり］に設定しても表示されません。
- 誕生日設定をリセットする場合は、セットアップメニューの［設定リセット］を行ってください。（P32）

MENU/SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P71)

雪モード

スキー場や雪山など、雪のある場所で撮りたいときに合わせてください。白い雪を白く出すように、露出とホワイトバランスを調整します。

高感度モード

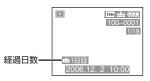
高感度処理を行い、ISO3200 で撮影することができます。

- 撮影した画像が少し粗くなりますが、高感度処理のためで、異常ではありません。
- ピントが合う範囲は 5 cm（W 端時）/ 2 m（T 端時）〜∞になります。
- L サイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。
- フラッシュは発光禁止 [⊘] に固定されます。
- クオリティを [RAW] に設定することはできません。
- 高感度モードでは、以下の機能が使えません。
  ・EX 光学ズーム
  ・デジタルズーム

旅行の経過日数を記録する（ : トラベル日付）

モードダイヤル設定：P A S M C

旅行の出発日を設定しておくと、撮影時に旅行の何日目かを記録することができます。

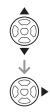
設定して撮影すると、再生時、何日目に撮影されたか画像に経過日数を表示します。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って経過日数をプリントすることができます。（プリントについては、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください）

■ 出発日を設定する

（画面はプログラムAEモード［ P ］の例）

1 [MENU/SET] ボタンを押して、◀ を押す

2 ▼ でセットアップメニューアイコン［ ］を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で［ トラベル日付 ］を選び、▶ を押す

4 ▼ で［設定］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲/▼/◀/▶ で出発日を設定する

◀/▶ ：合わせたい項目を選ぶ
▲/▼ ：年月日を設定する

6 [MENU/SET] ボタンを2回押してメニューを終了する

7 撮影する

経過日数

- トラベル日付を設定した状態で起動した場合 / 時計設定後 / 出発日設定後 / トラベル日付設定後 / ワールドタイム設定変更後 / 再生モードから他のモードへ切り換え後に約 5 秒間、経過日数が現在日時とともに画面の下に表示されます。
- トラベル日付を設定すると、画面右下に [ ] が表示されます。

■ トラベル日付を解除するには

[設定] のままにしておくと、出発からの日数をカウントし続け記録します。旅行が終わったら、4 の画面で [OFF] を選び [MENU/SET] ボタンを2回押してください。

- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定（P27）の日付により計算されます。ワールドタイム（P82）を旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- 設定したトラベル日付は、電源を入れ直しても記憶しています。
- 出発日より前に日付を設定した場合、オレンジ色で－（マイナス）と表示され、日付情報は記録されません。
- 海外旅行などで、出発日以降に旅行先の日付を 1 日戻した場合、白色で－（マイナス）と表示され、日付情報は記録されます。

（例） 12月1日に出発日を
　　　12月2日に設定した場合

- トラベル日付を ［OFF］ に設定していると、時計設定、トラベル日付設定をしていても、トラベル日付は記録されません。撮影後に、トラベル日付を [設定] にしても表示されません。
- 時計設定を設定していないときに、出発日を設定すると、「時計を設定してください」とメッセージが表示されますので、時計設定（P27）を行ってください。

応用

旅行先の時刻を表示する（：ワールドタイム）

モードダイヤル設定：P A S M C SCN

お住まいの地域と海外などの旅行先を選ぶことで、旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。

- あらかじめ［時計設定］（P27）で、現在の時刻を合わせておいてください。

1 [MENU/SET] ボタンを押して、◀ を押す

2 ▼ でセットアップメニューアイコン［］を選び、▶ を押す

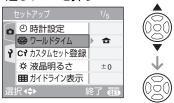
3 ▲/▼ で［ワールドタイム］を選び、▶ を押す

- はじめてワールドタイムを設定される場合や、お買い上げ時の状態の場合、「ホームエリアを設定してください」とメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は、[MENU/SET] ボタンを押し、「お住まいの地域（ホーム）を設定する」の ❷ の画面から設定してください。

■ お住まいの地域(ホーム)を設定する

（左記手順 1、2、3 の操作を行ってください）

❶ ▼ で［ホーム］を選び、[MENU/SET] ボタンで決定する

❷ ◀/▶ でお住まいの地域を選択し、[MENU/SET] ボタンで決定する

- 画面左上に、現在時刻が表示され、画面左下には GMT（グリニッジ標準時）に対する時差が表示されます。
- ホームがサマータイム［］（夏時間）を採用している場合は、▲ を押してください。もう一度押すと元に戻ります。
- ホームでのサマータイム設定は、現在の日時は進みませんので、時計設定（P27）を1時間進めてください。

ホームエリアの設定を終了するには

- はじめてホームを設定した場合は、ホームエリアを選択し、[MENU/SET] ボタンを押し決定すると、❶ の画面に戻りますので、続けて旅行先エリアの設定をすることができます。「旅行先エリアを設定する」の ❶ の画面へ進んでください。しばらく旅行の予定がない場合は、◀ を押して**3**の画面に戻り、[MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了してください。
- ２回目以降設定する場合、[MENU/SET] ボタンを押してホームを決定すると、**3**の画面に戻ります。メニューを終了する場合は、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了してください。

■ 旅行先エリアを設定する

(82 ページ手順**1**、**2**、**3**の操作を行ってください)

❶ ▲ で [旅行先] を選び、[MENU/SET] ボタンで決定する

「旅行先」または「ホーム」の選ばれているほうの時間を表示します

- はじめて旅行先エリアを設定する場合、時計表示はバー表示になります。

❷ ◀/▶ で旅行先のあるエリアを選択し、[MENU/SET] ボタンで決定する

- 画面右上に、選んだ旅行先エリアの現在時刻が表示され、画面左下には、ホームに設定したエリアとの時差が表示されます。
- 旅行先がサマータイム[ ](夏時間)を採用している場合は、▲ を押してください。(時計が 1 時間進みます) もう一度 ▲ を押すと元に戻ります。
- 選んだエリアにある主要な都市名とホームエリアからの時差が画面左下に表示されます。(表示される都市名については 140 ページをお読みください)

❸ [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

- 旅行先の設定を行うと、アイコンが [ ] から [ ] に変わります。

- 旅行から戻ったら、82 ページ手順 **1**、**2**、**3**の操作と、「お住まいの地域 (ホーム) を設定をする」の ❶、❷ の操作をして、設定をホームに戻してください。
- 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

動画を撮る（🎞：動画撮影モード）

モードダイヤルを 🎞 に合わせてください。

1 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影を開始する

記録可能時間

記録経過時間

- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。
- 絞り値は、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定に固定されます。
- 記録可能時間と記録経過時間が表示されます。
  例）１時間 20 分 30 秒のとき：
  1h20m30s
- 記録可能時間・記録経過時間はめやすです。
- 本機の内蔵マイクより、音声も同時に記録されます。
- **動画撮影時にフォーカスリングやズームリングを回すと、レンズ鏡筒がこすれる音が入る場合があります。**

2 シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

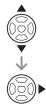
- 記録途中でカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

■ アスペクト設定・画質設定を変更する場合

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [アスペクト設定] を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ で [画質設定] を選び、▶ を押す

5 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 の画面で 4:3 を選択したとき

項目	記録画素数	コマ数
30fpsVGA	640×480画素	30 コマ / 秒
10fpsVGA	640×480画素	10 コマ / 秒
30fpsQVGA	320×240画素	30 コマ / 秒
10fpsQVGA	320×240画素	10 コマ / 秒

2 の画面で 16:9 を選択したとき

項目	記録画素数	コマ数
30fps16:9	848×480画素	30 コマ / 秒
10fps16:9	848×480画素	10 コマ / 秒

- ３０コマ / 秒の場合は、動画をよりなめらかに撮影することができます。
- １０コマ / 秒の場合は、なめらかさには欠けますが、長時間撮影することができます。
- [10fpsQVGA] は、ファイルサイズが小さいのでメールなどに添付するのに適しています。

6 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**

- **ピントが合う範囲は 30 cm（AF マクロ時は 5 cm）〜∞（W 端時）、2 m 〜∞（T 端時）です。**
- 記録可能時間については 160 ページをお読みください。
- 記録可能時間はめやすです。
（撮影条件、カードの種類によって変化します）
- 被写体により記録可能時間は変動します。
- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 音声なしで動画を記録することはできません。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- [画質設定] を [30fpsVGA] または [30fps16:9] に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。
- カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
- **カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。**
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質、音質が粗くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。
- 動画撮影モード [ ] では、以下の機能が使えません。
  - ・縦位置検出機能
  - ・レビュー
  - ・手ブレ補正の [MODE2]

複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

1 フロントダイヤルを左側に回して画像を複数画面表示にする

（9 画面表示時の画面）

1 画面 ⇨ 9 画面 ⇨ 25 画面

⇨ カレンダー画面表示（P 87）

- 複数画面表示にしたあと、フロントダイヤルをさらに左側に回すと 25 画面表示、カレンダー画面表示（P87）になります。フロントダイヤルを右側に回すと、一つ前の画面に戻ります。
- 複数画面表示に変えると、スクロールバーが表示され、記録されている全画像から表示中の画像の位置を確認することができます。

2 ▲/▼/◀/▶ で画像を選ぶ

- 選択されている画像の撮影日、選択画像番号/トータル枚数が表示されます。
- 撮影画像や設定によって、以下のアイコンが表示されます。
  - ・お気に入り [★]
  - ・動画 [🎞]
  - ・シーンモードの赤ちゃんモード [👶]
  - ・トラベル日付 [🧳]
  - ・コマ撮りアニメ [▣]

■ 25 画面表示の例

■ 1 画面表示に戻すには

フロントダイヤルを右側に回すか、[MENU/SET] ボタンを押す

- オレンジ色の枠で表示された画像が1画面表示されます。

■ マルチ再生中に画像を削除する

❶ ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[🗑] ボタンを押す

❷ ▲ で［はい］を選ぶ

❸ [MENU/SET] ボタンを押す

- 通常の再生で液晶モニター/ファインダーの表示を「表示なし」にしていても（P48）、マルチ再生時は、撮影情報などが表示されます。1 画面に戻すと、通常の再生での表示に戻ります。
- [回転表示] を [ON] にしていても回転表示されません。（P117）

画像を撮影日ごとに表示する（CAL カレンダー再生）

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。

カレンダー再生機能を使うと、撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

1 フロントダイヤルを左側に回して、カレンダー画面表示にする

- はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーは月単位で表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶ で再生する日付を選ぶ

◀/▶：日を選択

▲/▼：月を選択

- 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。

3 [MENU/SET] ボタンを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

- 選択した日付に撮影された画像が9画面で表示されます。
- カレンダー画面表示に戻すには、フロントダイヤルを左側に回してください。

4 ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 選択された画像が１画面に表示されます。

■ カレンダー再生を終了するには

カレンダー画面表示にしたあと、フロントダイヤルを右側に回すと 25 画面表示、９画面表示（P86）、１画面表示になります。

- [回転表示]を[ON]にしていても回転表示されません。（P117）
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年１月から2099年12月までです。
- マルチ再生の25画面表示で選んでいた画像が、2000 年 1 月から 2099 年 12 月以外に撮影された画像の場合、表示範囲内のもっとも古い日付に撮影された画像を選択します。
- パソコンや他機で加工した画像などは、実際の撮影日とは異なった表示になる場合があります。
- [時計設定]（P27）を行わずに撮影した場合、2006年1月1日に表示されます。
- ワールドタイム（P82）で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生画面を拡大する（再生ズーム）

モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

1 フロントダイヤルを右側に回して画像を拡大する

1倍 ⇨ 2倍 ⇨ 4倍 ⇨ 8倍 ⇨ 16倍

- 拡大したあと、フロントダイヤルを左側に回すと、倍率が小さくなります。右側に回すと大きくなります。
- 倍率を変えると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示され、拡大部分の位置を確認することができます。

2 ▲/▼/◀/▶ で位置を移動させる

- 表示する位置を移動させると、約1秒間ズーム位置表示が表示されます。

■ 再生ズームをやめるには

フロントダイヤルを左側に回すか、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 再生ズーム中に画像を削除する

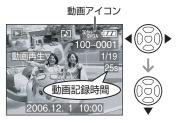
❶ [🗑] ボタンを押す
❷ ▲ で［はい］を選ぶ
❸ [MENU/SET] ボタンを押す

- 通常の再生で液晶モニター/ファインダーの表示を「表示なし」にしていても(P48)、再生ズーム時は、倍率や操作方法が表示されます。[DISPLAY] ボタンを押すと、表示ありと表示なしを切り換えることができます。1 倍に戻すと、通常の再生での表示に戻ります。
- 再生ズームは、拡大するほど画像が粗くなります。
- 撮影した画像を拡大して保存したい場合は、トリミングを行ってください。(P124)
- 他機で撮影した画像は再生ズームできない場合があります。

動画 / 音声付き静止画を再生する

モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

■ 動画

◀/▶ で動画アイコン [30fps VGA]/[10fps VGA]/[30fps QVGA]/[10fps QVGA]/[30fps 16:9]/[10fps 16:9] が付いた画像を選び、▼ を押して再生する

- 動画記録時間が表示されます。再生を開始すると、動画記録時間が消え、画面右下に再生経過時間が表示されます。
  例） 1 時間 20 分 30 秒のとき：
  1h20m30s

- 再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。
- もう一度 ▼ を押すと停止し、通常の再生画面に戻ります。

早送り / 早戻しをする

動画再生中に◀/▶を押したままにする

◀：早戻し　▶：早送り

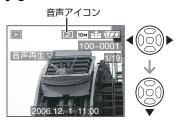
- ◀/▶ を離すと、通常の動画再生に戻ります。

一時停止する

動画再生中に ▲ を押す

- もう一度 ▲ を押すと一時停止が解除されます。

■ 音声付き静止画

◀/▶ で音声アイコン [♪] が付いた静止画を選び、▼ を押して再生する

- 音声付き静止画の作成方法は、音声記録（P98）、アフレコ（P122）をお読みください。

- スピーカーから音声が聞こえます。音量調整については、セットアップメニューの [スピーカー音量]（P31）をお読みください。
- 本機で再生できるファイル形式は QuickTime Motion JPEG です。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合は CD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」をご使用ください。（P128）
- パソコンや他機で記録された QuickTime Motion JPEG ファイルは本機で再生できない場合があります。
- 他機で撮影された動画を再生すると、画質が粗くなったり、再生できない場合があります。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。
- 動画、音声付き静止画は、以下の機能が使えません。
  ・再生ズーム
  （動画再生 / 一時停止中、音声再生中）
  ・回転表示 / 画像回転 / アフレコ
  （動画のみ）
  ・リサイズ/トリミング/アスペクト変換

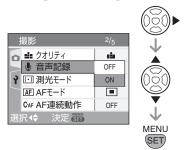
撮影メニューを使う

モードダイヤル設定：P A S M C [動画] SCN [A]

色合いや画質調整などを設定すると、撮影のバリエーションが広がります。
- モードダイヤルを撮影するモードに合わせてください。
- モードダイヤル（P7）で選んでいるモードによって、メニュー項目は異なります。ここでは、プログラムAEモード[P]で、[音声記録] を設定する例で説明しています。（各項目については91 ～ 112ページをお読みください）
- メニュー設定をお買い上げ時の状態に戻すには、セットアップメニューの[設定リセット]を実行してください。（P32）

1 [MENU/SET] ボタン押す

2 ▲/▼ でメニュー項目を選ぶ

3 ▶ を押して ▲/▼ で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ メニュー画面の項目について

- メニュー画面は1/5～5/5画面まであります。
- フロントダイヤルを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

MENU SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P90)

つづく

■ FUNCTION 設定を使う

モードダイヤル設定：

P A S M C 🎞 SCN A

撮影時に [FUNCTION] ボタンを使って、次の 6 項目を簡単に設定することができます。

- AF モード（P99）
- 測光モード（P98）
- ホワイトバランス（P91）
- ISO 感度（P94）
- 記録画素数（P96）
- クオリティ（P96）

1 撮影状態で、[FUNCTION] ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ でメニュー項目を選び、[FUNCTION] ボタンを押して終了する

- フロントダイヤル・リアダイヤルでもメニュー項目を選択することができます。

📖

- 撮影モードにより、設定できるメニューが異なります。
- FUNCTION 設定では、ホワイトバランスの [SET]（セットモード）は表示されません。

WB ホワイトバランス 自然な色合いに調整する

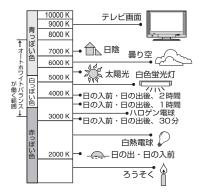
モードダイヤル設定：

P A S M C 🎞

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、撮影状況に合った項目に設定することで見た目に近い白色に調整します。

項目	撮影状況
AUTO（オート）	自動で設定するとき
☼（晴天）	屋外晴天下で撮影するとき
☁（曇り）	屋外曇天下で撮影するとき
⌂（日陰）	晴天時の屋外日陰で撮影するとき
-☼-（白熱灯）	白熱灯下で撮影するとき
⚡WB（フラッシュ）	フラッシュ光のみで撮影するとき
1（セットモード 1）	あらかじめセットしている設定を使用するとき
2（セットモード 2）	
SET（セットモード）	新しくホワイトバランスを設定するとき

■ オートホワイトバランスについて

オートホワイトバランスが働く範囲は、下図のとおりです。範囲外での撮影では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを [AUTO] 以外に設定して調整してください。

■ セットモードについて(SET)

手動でホワイトバランスを設定したいときに使用します。

❶ [SET]（セットモード）を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

❷ [セットモード 1] または [セットモード 2] を選択して [MENU/SET] ボタンを押す

❸ 白い紙などに本機を向けて、画面の中央の枠内に白いものだけが写るようにし、[MENU/SET] ボタンを押す

❹ [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが（晴天 [☼]、フラッシュ [WB] は除く）、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- 以下の場合、ホワイトバランスの設定はできません。
  - ・オートモード [A]
  - ・シーンモード

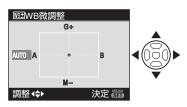
MENU SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P90）

つづく

WB± WB 微調整　思い通りの色合いに調整する

モードダイヤル設定：P A S M C 動画

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

1 ▲/▼◀/▶ でホワイトバランスを微調整する

◀：A（アンバー：オレンジ系）
▶：B（ブルー：青系）
▲：G+（グリーン：緑系）
▼：M–（マゼンタ：赤系）

2 [MENU/SET]ボタンを押して終了する

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**
- ホワイトバランスを A（アンバー）または B（ブルー）に微調整すると、液晶モニターに表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスを G+（グリーン）または M–（マゼンタ）に微調整すると、液晶モニター / ファインダーに表示されるホワイトバランスアイコンに［+］（例：）または［–］（例：）が表示されます。
- ホワイトバランスを微調整しない場合は、中心点を選んでください。

- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- 設定したホワイトバランス微調整は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
- カラーエフェクト設定(P104)を［クール］、［ウォーム］、［白黒］、［セピア］のいずれかに設定しているとき、ホワイトバランスの微調整はできません。
- セットモード[SET]で新しくホワイトバランスを設定し直したときは、[1] または [2]（セットモード）の微調整レベルは標準（中心点）に戻ります。

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P90)

ISO ISO 感度　光に対する感度を設定する

モードダイヤル設定：P A S M C

ISO 感度とは、光に対する敏感さを数値で表したもので、高い数値に設定するほど、暗い場所での撮影に適しています。

ISO 感度	100	1600
屋外など明るい場所での撮影	適している	適していない
暗い場所での撮影	適していない	適している
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

ISO 感度	設定内容
AUTO	明るさに応じて、自動的に ISO 感度を調整します
I ISO (インテリジェント)	被写体の動きと明るさに応じて、ISO 感度を調整します。
100	それぞれの ISO 感度に固定します
200	
400	
800	
1600	

● [AUTO] を選ぶと、明るさに応じて ISO 感度を [ISO100] ～ [ISO200] まで自動的に高くしていきます。(フラッシュ使用時は [ISO100] ～ [ISO400])

■ I ISO (インテリジェント ISO 感度コントロール)について

画面内の中央付近にある被写体の動きを検出し、被写体の動きと明るさに応じて最適な ISO 感度とシャッタースピードを設定します。

● 屋内で動きのある被写体を撮影する場合などは、ISO 感度を上げてシャッタースピードを速くすることにより、被写体のブレを抑えて撮影します。

1/125 ISO800

● 動きのない被写体を撮影する場合には、ISO 感度を低く設定することにより、ノイズを抑えて撮影します。

1/30 ISO200

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P90)

つづく

- シャッターボタン半押し時は [I ISO] が表示され、全押しするとシャッタースピードがしばらく表示されます。

- [I ISO] を選ぶと、デジタルズームおよびオートブラケットは使えません。
- [I ISO] を選んでも、明るさや被写体の動きの速さによっては、被写体ブレを抑えられない場合があります。
- 以下の場合は動きを検出できない場合があります。
  - ・動いている被写体が小さいとき
  - ・動いている被写体が画面の端にあるとき
  - ・シャッターボタンを全押しした瞬間に、被写体が動き出したとき
- オートモード [A]、シーンモードのスポーツ (P73)、赤ちゃん (P77) では [I ISO] に固定されます。
- [I ISO] 選択時は、プログラムシフトは使えません。
- 絞り優先 AE、シャッター優先 AE、マニュアル露出時は [AUTO] または [I ISO] の選択はできません。
- シーンモードの高感度モード (P79) では、[ISO3200] に固定されます。
- 動画撮影モード [動画] ではISO感度の設定はできません。
- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、[画質調整] の [ノイズリダクション] を [高] または、[ノイズリダクション] 以外の各項目を [低] にして撮影することをおすすめします。(P104)
- シャッタースピードについては、65ページをお読みください。

アスペクト設定
画面の横縦比を設定する

モードダイヤル設定：
P A S M C 動画 SCN A

アスペクト (画像の横縦比) を変えると、被写体に合わせて画角を選択できます。

項目	効果
4:3	4:3 のテレビやパソコンの画面と同じ横縦比で撮影できます。
3:2	一般のフィルムカメラと同じ 3:2 の横縦比で撮影できます。
16:9	風景など被写体のワイド感を表現したいときや、ワイドテレビ、ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適しています。

- 動画撮影モード [動画] 時は、[3:2] の選択はできません。(P84)
- 撮影した画像は、プリント時に端が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。(P147)

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P90)

記録画素数 / クオリティ　用途に合わせて画素数、画質を設定する

モードダイヤル設定：P A S M C SCN iA

デジタル画像は画素という点が集まって作られています。本機の液晶モニターではその違いはわかりませんが、画素が多いと大きな用紙にプリントしたときやパソコン画面で見たときでも、きめ細かな画像になります。クオリティはデジタル画像を保存するときの圧縮率です。

※画像は効果を説明するためのイメージです。

■ 記録画素数

大きい記録画素数 [10M]（10M）に設定すると、より鮮明にプリントすることができます。
小さい記録画素数 [2M]（2M EZ）に設定すると、より多くの画像が記録できます。また、データ容量が小さいので、E メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに便利です。

アスペクト設定が [4:3] のとき

項目	記録画素数
10M (10M)	3648×2736 画素
8M (8MEZ)	3264×2448 画素
5M (5M EZ)	2560×1920 画素
3M (3M EZ)	2048×1536 画素
2M (2M EZ)	1600×1200 画素

アスペクト設定が [3:2] のとき

項目	記録画素数
8.5M (8.5M)	3600×2400 画素
7M (7M EZ)	3248×2160 画素
4.5M (4.5M EZ)	2560×1712 画素
2.5M (2.5M EZ)	2048×1360 画素

アスペクト設定が [16:9] のとき

項目	記録画素数
7M (7M)	3584×2016 画素
5.5M (5.5MEZ)	3072×1728 画素
2M (2M EZ)	1920×1080 画素

■ クオリティ

クオリティをスタンダードに設定すると、記録画素数を変えずに記録可能枚数を増やすことができます。

項目	効果
(ファイン)	画質を優先し、高画質に記録します。(低圧縮)
(スタンダード)	記録可能枚数を優先し、画質は標準で記録します。(高圧縮)
RAW (RAW)	パソコンで画像を加工するときに設定します。

● アスペクト設定によって、設定できる記録画素数は異なります。アスペクト設定を変更したときは、記録画素数の設定を行ってください。
● EZ とは「Ex. optical Zoom」の略で、EX 光学ズームを表します。EZ の付いた記録画素数が選択されているときは、ズーム倍率が最大 21.4 倍（デジタルズーム [OFF] 設定時）まで拡張されます。(P42)
● シーンモードの高感度モード (P79) では、EX 光学ズームが働きませんので、記録画素数の [EZ] は表示されません。
● 動画撮影モード [ ] 時は、
VGA（640×480 画素）、
QVGA（320×240 画素）または
16：9 (848×480 画素) になります。
● [RAW]に設定すると、各アスペクト設定の最大記録画素数（[10M][8.5M][7M]）に固定され、スタンダード相当の JPEG 画像が同時に作られます。本機で RAW ファイルを削除すると、JPEG 画像も同時に削除されます。
● 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
● 記録可能枚数については、158 ページをお読みください。
● 被写体により記録可能枚数は変動します。
● 液晶モニター/ ファインダーに表示される記録可能枚数は、撮影された枚数分、減少しない場合があります。
● [RAW]に設定しているときは、デジタルズームは使用できません。
● シーンモードの高感度モード (P79) ではクオリティを [RAW] に設定することはできません。
● クオリティを [RAW] に設定しているときは、以下の機能は使えません。
・アフレコ
・連写
・リサイズ
・トリミング
・音声記録
・オートブラケット
● RAW ファイルを利用すると、より高度な画像の編集が可能です。編集した画像はパソコンなどで表示できるファイル形式（JPEG、TIFF など）で保存できます。
RAW ファイルの現像や編集には、CD-ROM（付属）のソフトウェア（市川ソフトラボラトリーの「SILKYPIX Developer Studio」）をお使いください。

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P90)

音声記録
音声付き静止画を撮る

モードダイヤル設定：
P A S M C SCN

[ON] に設定すると、画像に合わせて音声を記録することができます。撮影時の会話やメモ代わりに状況の説明などを記録しておくことができます。

- [ON] に設定すると、画面に [ ] が表示されます。
- ピントを合わせてシャッターボタンを押すと、撮影開始から約 5 秒後、録音が自動的に終了します。シャッターボタンを押したままにする必要はありません。
- 音声は本機の内蔵マイクより録音されます。
- 録音中に [MENU/SET] ボタンを押すと解除されます。音声は記録されません。

- 以下の場合、音声付き静止画を撮ることはできません。
  - ・オートブラケット撮影
  - ・連写
  - ・クオリティを [RAW] に設定したとき
  - ・シーンモードの星空モード
- **フォーカスリングやズームリングを回すと、レンズ鏡筒がこすれる音が入る場合があります。**

測光モード
明るさを測る方法を決める

モードダイヤル設定：
P A S M C

以下の測光方式に切り換えることができます。

測光方式	設定内容
評価測光	画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをおすすめします。
中央重点測光	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
スポット測光	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。 スポット測光ターゲット

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P90)

つづく

AF AF モード　ピントを合わせる方法を設定する

モードダイヤル設定：P A S M C 🎞 SCN

撮影状況や撮りたい構図に合わせて使い分けてください。

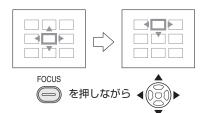
項目	効果
(9 点)	9 点いずれかでピントを合わせます。被写体が中央にない場合に有効です。
H (3 点高速)	左、中央、右の 3 点いずれかに高速でピントを合わせます。被写体が中央にない場合に有効です。
H (1 点高速)	画面中央の AF エリア内に高速でピントを合わせます。
(1 点)	画面中央の AF エリア内にピントを合わせます。

項目	効果
(スポット)	限られた狭い範囲内にピントを合わせることができます。

■ 3 点高速、1 点高速について

- 他の AF モードより早くピントを合わせることができます。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合う前の状態で画像が一瞬静止することがありますが、故障ではありません。

■ AF エリア選択

１点または１点高速を選択時に、下図ように AF エリアを選択することができます。スポット測光のときは、測光ターゲットも AF エリアに合わせて移動します。

❶ フォーカス切換スイッチを [AF] または [AF MACRO] にする
❷ [FOCUS] ボタンを押しながら、▲/▼/◀/▶ でAFエリアを移動する
❸ [FOCUS] ボタンを離して決定する

- 以下の操作を行うと、元の AF エリア位置に戻ります。
  - ・モードダイヤルをオートモード [A] にしたとき
  - ・電源を [OFF] にしたとき

- 暗い場所での撮影時またはデジタルズーム時は、通常よりも大きな中央１点の AF エリアが表示されます。

- AF エリアが複数（最大９個）点灯した場合は、点灯したすべての AF エリアにピントが合っています。
  カメラが自動的に判断した位置にピントが合うので、ピントが合う位置は決まっていません。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、設定を１点高速、１点またはスポットに切り換えてください。
- [スポット] でピントが合いにくいときは、１点高速または１点に切り換えてください。

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P90)

つづく

C-AF AF連続動作
動きに合わせて連続的にピントを合わせる

モードダイヤル設定：
P A S M C 🎞 SCN

常時ピント合わせを行うので、構図が決めやすくなります。AF モードが 1 点、1 点高速、スポットのときは、シャッターボタンを半押ししたときのピントが合うまでの時間が短くなります。

- [ON] に設定すると、画面に [C-AF] が表示されます。

📖

- バッテリーの消耗は早くなります。
- ズームリングを W 端から T 端に回したり、急に被写体を遠くから近くに変えたあとは、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 動画撮影時と静止画撮影時、それぞれ別々に設定することができます。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- オートモード [A]、シーンモードの夜景 & 人物（P73）、夜景（P74）、流し撮り（P74）、花火（P76）、星空（P77）、マニュアルフォーカス時では[OFF]に固定されます。

AF☀ AF補助光
暗い場所でピントを合わせやすくする

モードダイヤル設定：
P A S M C 🎞 SCN

撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくすることができます。

- [ON]に設定すると、暗い場所などでシャッターボタンを半押ししたときに、通常よりも大きな AF エリアが表示され、AF 補助光ランプが光ります。このとき、画面に [AF☀] が表示されます。補助光の有効距離は 1.5 m です。
- [OFF] に設定すると AF 補助光ランプは光りません。

📖

- AF 補助光使用時は以下の点にお気をつけください。
  - ・近くで発光部を見ない
  - ・レンズフードを外す
  - ・AF 補助光ランプを指などでふさがない
- AF 補助光点灯時は、通常よりも大きな中央 1 点の AF エリアが表示されます。（P100）
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所で AF 補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF] に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- オートモード [A] では、[ON] に固定されます。
- レンズ部により、AF 補助光の外周の一部がケラレる場合がありますが、性能上には問題はありません。
- シーンモードの風景（P73）、夜景（P74）、流し撮り（P74）、花火（P76）では、[OFF] に固定されます。

MENU SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P90)

F/AE LOCK FOCUS/AE ロック　ピントや露出を固定して撮る

モードダイヤル設定：P A S M C 動画 SCN

被写体が AF エリアから外れている場合や、被写体のコントラストが強すぎて露出補正が得られない場合などに便利です。

[Focus] 選択時
(ピントだけを固定する場合)

❶ 被写体に AF エリアを合わせる
❷ [FOCUS/AE LOCK] ボタンを押し、ピントを固定する
- もう一度 [FOCUS/AE LOCK] ボタンを押すと、ロックは解除されます。
- ピントが合うと、フォーカスロックアイコン [FOC-L] が表示されます。

❸ 撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

[AE] 選択時
(露出だけを固定する場合)

❶ 被写体に AF エリアを合わせる
❷ [FOCUS/ LOCK] ボタンを押し、露出を固定する
- もう一度 [FOCUS/AE LOCK] ボタンを押すと、ロックは解除されます。
- 露出が合うと、AE ロックアイコン [AE-L] および絞り値、シャッタースピードが表示されます。

❸ 撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

[Focus/AE] 選択時
(ピントと露出を固定する場合)

❶ 被写体に AF エリアを合わせる
❷ [FOCUS/AE LOCK] ボタンを押し、ピントと露出を固定する
- もう一度 [FOCUS/AE LOCK] ボタンを押すと、ロックは解除されます。
- ピントと露出が合うと、フォーカス/AE ロックアイコン [FOC-L AE-L] および絞り値、シャッタースピードが表示されます。

❸ 撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

■ マニュアルフォーカス(MF)時は

撮りたい位置でピントを合わせてから [FOCUS/AE LOCK] ボタンを押してピントを固定してください。

- フォーカスロック中にフォーカスリングを操作すると、フォーカスロックアイコン [FOC-L] が赤く点滅します。

- 被写体の明るさが変わっても、露出は固定されます。
- AE ロック時でも、半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- やり直すときは、もう一度 [FOCUS/AE LOCK] ボタンを押して AE ロックを解除してください。
- AE ロック時でも、プログラムシフトを設定できます。
- シャッターボタンを半押しせずに [FOCUS/AE LOCK] ボタンを押しても、AF または AE ロックを行うことができます。
- マニュアル露出モード、シーンモードまたは動画モード時は、AE ロックはできません。

MENU SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P90)

つづく

ダイレクト露出補正　露出補正をすばやく行う

モードダイヤル設定：P A S M C SCN

フロントダイヤルまたはリアダイヤルで操作することができます。

1 フロントダイヤルまたはリアダイヤルを選ぶ

撮影 3/5
AF補助光 ON
FOCUS/AEロック FOCUS/AE
ダイレクト露出補正 OFF
デジタルズーム
カラーエフェクト
選択 決定 MENU SET

- 選択したダイヤルで、直接露出補正をすることができます。
- 直接ダイヤルで露出を補正しない場合は、[OFF] に設定してください。

2 [MENU/SET] ボタンを押して終了する

■ ダイヤル動作

OFF 選択時

露　出モード		
P	—	プログラムシフト
A	絞り	—
S	—	シャッタースピード
M	絞り	シャッタースピード
SCN	—	—
動画	—	—

選択時

露　出モード		
P	プログラムシフト	露出補正
A	絞り	
S	シャッタースピード	
M	絞り	シャッタースピード
SCN	—	露出補正
動画	—	

選択時

露　出モード		
P	露出補正	プログラムシフト
A		絞り
S		シャッタースピード
M	絞り	シャッタースピード
SCN	露出補正	—
動画		—

- カスタムモード選択時は、設定しているメニュー内容で動作します。(ただし、カスタムセットでマニュアル露出を設定している場合は除く)
- 以下の場合、ダイレクト露出補正はできません。
  - ・マニュアル露出時
  - ・オートモード時

MENU SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P90)

カラーエフェクト 撮影する画像の色彩効果を設定する

モードダイヤル設定：
P A S M C

撮影状況、撮影イメージに合わせて使い分けてください。

項目	効果
クール	青っぽい画像になります。
ウォーム	赤っぽい画像になります。
白黒	白黒画像になります。
セピア	セピア色の画像になります。

画質調整 撮影する画像の画質を調整する

モードダイヤル設定：
P A S M C

撮影状況、撮影イメージに合わせて使い分けてください。

項目		効果
コントラスト	高	画像の明暗差を大きくします。
	低	画像の明暗差を小さくします。
シャープネス	高	画像の輪郭を強調します。
	低	画像の輪郭を柔らかくします。
彩度	高	派手で鮮やかな色になります。
	低	落ち着いた色になります。
ノイズリダクション	高	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。 解像感がわずかに低下する場合があります。
	低	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。

- 暗い場面で撮影するとき、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、[ノイズリダクション] を [高] にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目を [低] にして撮影することをおすすめします。

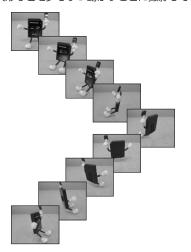
MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P90）

つづく

コマ撮りアニメ　画像をつなぎ合わせて動画ファイルを作成する

モードダイヤル設定：P A S M C SCN

最長約２０秒の動画ファイルを作成することができます。

たとえば…
人形などを少しずつ動かすごとに撮影して

つなぎ合わせると動いているように見えます。

- 作成したコマ撮りアニメを再生する方法は、動画を再生するときと同じです。（P89）

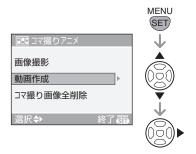
1 ▲/▼ で [コマ撮りアニメ] を選び、▶ を押す

2 [画像撮影] を選び、▶ を押す

- 記録画素数は 320 × 240 画素になります。

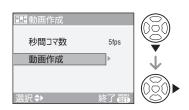
3 シャッターボタンを押し、ひとコマずつ撮影する

- ▼ を押すと、撮影した画像を確認できます。◀/▶ を押すと、前後の画像を確認することができます。
- 不要な画像は [🗑] ボタンで削除してください。
- 最大 100 枚まで撮影できます。表示される残量枚数はめやすです。

4 [MENU/SET] ボタンを押して▲/▼で[動画作成]を選び、▶を押す

5 [秒間コマ数]を選び、▶を押す

6 ▲/▼で[5fps]または[10fps]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 5 fps：5 コマ / 秒
- 10 fps：10 コマ / 秒
  （よりなめらかな動画になります）

7 ▼で[動画作成]を選び、▶を押して、コマ撮りアニメを作成する

- 動画作成をすると、ファイル番号が表示されます。
- 作成終了後、[MENU/SET]ボタンを3 回押してメニューを終了します。

■ コマ撮りアニメ用静止画像をすべて削除する

[コマ撮りアニメ]のメニューから[コマ撮り画像全削除]を選択すると、確認画面が表示されます。▲ ボタンで [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。

- 縦位置検出機能、音声付き静止画、連写、オートブラケットは使えません。
- 各コマの画像は通常のレビュー（P44）では表示されません。
- [動画作成]を実行すると、コマ撮りアニメ用に撮影されたすべての画像が1つのアニメになります。不要な画像は、削除しておいてください。
- 音声は記録されません。
- アフレコ機能（P122）で音声を記録することはできません。
- 他機では再生できない場合があります。また、他機で再生したとき、ミュート機能のない機種ではノイズが出る場合があります。

を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P90)

つづく

コンバージョン　別売品レンズを使う

モードダイヤル設定：P A S M C

テレコンバージョンレンズ（別売：DMW-LT55）を使用するとより望遠に（1.7倍）、ワイドコンバージョンレンズ（別売：DMW-LW55）を使用するとより広角に（0.7 倍）、クローズアップレンズ（別売：DMW-LC55）を使用すると小さな被写体をよりアップに撮ることができます。

1 レンズキャップを外し、コンバージョンレンズまたはクローズアップレンズを取り付ける

- **コンバージョンレンズと MC プロテクター(別売:DMW-LMC55)や ND フィルター（別売：DMW-LND55）を併用することはできません。必ず取り外してからコンバージョンレンズを取り付けてください。**
- ゆっくりていねいに回してください。

2 本機の電源を [ON] にしてから▲/▼で [コンバージョン] を選び、▶を押す

3 ▲/▼で [W]、[T] または [C] に設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	撮影状況
OFF	コンバージョンレンズを装着しないとき
	ワイドコンバージョンレンズを装着するとき
	テレコンバージョンレンズを装着するとき
	クローズアップレンズを装着するとき

● 設定終了後、シャッターボタンを半押しまたは [MENU/SET] ボタンを押して、メニューを終了します。

4 ズームリングを T 端または W 端に合わせる

● テレコンバージョン使用時は必ず T 端、ワイドコンバージョンレンズ使用時は必ず W 端に合わせてください。
● コンバージョンアイコンが点滅（赤）から点灯（白）に変わります。
● コンバージョンレンズ使用時は、必ずコンバージョンアイコンが白く点灯している状態で撮影してください。点滅しているときに撮影すると、正しく撮影できません。

■ コンバージョンレンズ使用時の撮影可能範囲

テレコンバージョンレンズ装着時

	W 端	T 端
通常	―	5.4 m ～∞
マクロ	―	5.4 m ～∞

ワイドコンバージョンレンズ装着時

	W 端	T 端
通常	15 cm ～∞	―
マクロ	15 cm ～∞	―

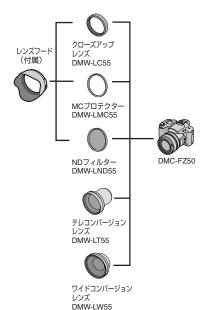
クローズアップレンズ装着時

	W 端	T 端
通常	20 cm ～ 50 cm	40 cm ～ 50 cm
マクロ	5 cm ～ 50 cm	40 cm ～ 50 cm

	表示	実際の倍率
テレコンバージョンレンズ	12 ×	20.4 ×※
ワイドコンバージョンレンズ	1 ×	0.7 ×

※デジタルズーム（P43）、EX 光学ズーム（P42）使用時の実際の倍率は、T 端での表示の 1.7 倍になります。
● クローズアップレンズ使用時、ズームは全域使用することができます。

- ワイドコンバージョンレンズ設定時は、デジタルズームは使用できません。
- レンズ表面に汚れ（水、油、指紋など）が付いた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- コンバージョンレンズを使用しないときは、[コンバージョン] を必ず [OFF] に設定してください。
- コンバージョンレンズまたはクローズアップレンズ使用時は
  - ・[コンバージョン] を [OFF] に設定してコンバージョンレンズまたはクローズアップレンズを使用すると、本来の性能が発揮されません。
- テレコンバージョンレンズ使用時は
  - ・三脚の使用をおすすめします。
  - ・手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - ・手ブレの影響により、ピントが合っていないのにフォーカス表示が点灯することがあります。
  - ・ピントが合うまでの時間が通常よりも長くなることがあります。
- [コンバージョン] を [ ]、[ ] または [ ]に設定しているときは、内蔵フラッシュまたは AF 補助光は使えません。(P101)
- 詳しくは、コンバージョンレンズの説明書をお読みください。

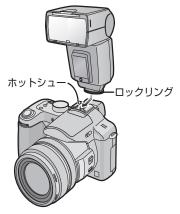
■ レンズ装着組み合わせ図

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P90）

外部フラッシュ　別売品フラッシュを使う

モードダイヤル設定：P A S M C SCN A

外部フラッシュを付けると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

■専用フラッシュライト(別売: DMW-FL500/DMW-FL360) を使う場合

1 ホットシューに専用フラッシュライトを取り付け、本機と専用フラッシュライトの電源を入れる

- 専用フラッシュライトのロックリングは、確実に締め込んでください。

2 ▶（ϟ）ボタンを押す

3 ▲/▼ でフラッシュ設定を切り換える

（ここで表示される画面は、専用フラッシュライトのフラッシュモードによって異なります）

ϟT / ϟP / ϟM：外部フラッシュ強制発光

ϟT / ϟP / ϟM：外部フラッシュ発光禁止

4 [MENU/SET]　ボタンを押して決定する

- 専用フラッシュライトのフラッシュモードを [TTL AUTO] に設定している場合は、撮影モードに応じて、さまざまなフラッシュ設定を選択することができます。選択できるフラッシュ設定については、53 ページをお読みください。
- 専用フラッシュライトのフラッシュモードを [TTL AUTO] または [AUTO] に設定している場合は、本機側で［ フラッシュ発光量調整 ］（P54）をすることができます。詳しくは、専用フラッシュライトの取扱説明書をお読みください。

つづく

■ 本体(DMC-FZ50)と通信機能のない外部フラッシュ(別売:PE-28S/PE-36S)を使う場合は

1 ▲/▼ で [PRESET] または [MANUAL] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

PRESET

- 撮影モードに関係なく本機の絞り値は[F4]、ISO 感度は [ISO100] に設定されます。外部フラッシュを [AUTO] にして、絞り値を[F4]、ISO感度を[ISO100]に設定してください。
- 通常は [PRESET] に設定することをおすすめします。

MANUAL

- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値、シャッタースピードや ISO 感度を設定できます。
- 絞り優先 AE またはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値と ISO 感度を外部フラッシュ側でも設定してください。(シャッター優先 AE モードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラム AE モードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません。)
- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、カメラ側で設定されている絞り値とISO感度に合わせることのできる製品をお使いください。

- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO 感度を設定できます。
- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
- **専用フラッシュライト以外の通信機能のある外部フラッシュを使用すると正常に動作しないだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、使用しないでください。**
- **外部フラッシュの電源が[OFF]でも、装着すると外部フラッシュモードになるものがあります。外部フラッシュを使用しないときは、外部フラッシュを外すか、外部フラッシュを発光禁止にしてください。**
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュは使えません。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- 外部フラッシュ装着時は、置いたときに不安定になります。
- 持ち運びするときは、外部フラッシュを取り外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落の恐れがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 外部フラッシュ使用時にホワイトバランスを「WB(フラッシュ)」に設定した場合、撮影結果によってはホワイトバランスを微調整してください。(P93)
- 広角時に近くで撮影すると、画面の下部がケラレる場合があります。
- **詳しくは、外部フラッシュの説明書をお読みください。**

MENU SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P90）

外部フラッシュ連写
フラッシュを発光させながら連写する

モードダイヤル設定：
P A S M C SCN A

外部フラッシュ装着時に、連写にして撮影することができます。

- 「外部フラッシュ連写」を「ON」に設定してください。
- 単写 / 連写切換ボタンを押し、連写設定を切り換えてください。
- シャッターボタンを押し続けると最大３枚まで撮影されます。

■ 連写枚数

	H（高速）	L（低速）	∞（フリー）
連写速度	2 コマ / 秒	1 コマ / 秒	約 1 コマ / 秒
連写枚数	最大３枚		

- 外部フラッシュまたは撮影状況によっては、連写できないか、連写すると 2 枚目以降、光量が不足する場合があります。

時計設定
年月日、時刻、表示を設定する

モードダイヤル設定：
P A S M C SCN A

日付や時刻を変更するときに設定してください。（P27）

再生メニューを使う

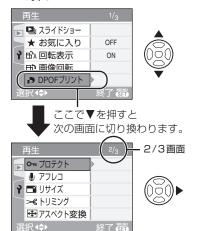
つづく

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。

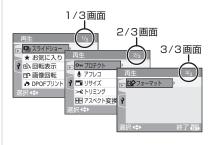
撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

- 各項目については 114 ～ 126 ページをお読みください。

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ でメニュー項目を選び、▶を押す

- **手順 1、2 の操作を行ったあとは、各メニュー項目の説明ページを読んで設定を行ってください。**

■ メニュー画面の項目について

- メニュー画面は 1/3 ～ 3/3 画面まであります。
- フロントダイヤルを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

MENU/SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P113)

スライドショー　画像を一定間隔で順番に再生する

テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。「お気に入り」設定(P116)しておけば不要な画像をとばして見ることができます。

- [お気に入り]を[ON]に設定しているときは **1** から、[OFF]に設定しているときは**2**から操作をしてください。

1 ▲/▼ で [全画像] または [★] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

全画像：すべての画像を表示します。
★：　お気に入り設定した画像(P116)のみ表示します。

- [お気に入り]を[ON]に設定していても、[★]の付いた画像が1枚もない場合は、[★]を選択できません。

2 ▲ で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

([全画像] 選択時の画面)

- スライドショー中、またはスライドショー一時停止中、[MANUAL] スライドショー中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

スライドショー中

スライドショー一時停止中

[MANUAL] スライドショー中

- スライドショー中に ▲ を押すと、一時停止します。もう一度 ▲ を押すと一時停止が解除されます。
- 一時停止中に ◀/▶ を押すと前後の画像を表示できます。(ただし、設定した効果は無効になります)

3 ▼ を押してスライドショーを終了する

つづく

■ 再生間隔と効果、音声の設定について

114 ページ 2 の画面で［再生間隔］、[効果] または［音声］を選んで設定してください。

[再生間隔]

1、2、3、5 秒、MANUAL（マニュアル）（手動再生）の中から設定できます。

- 再生間隔はめやすです。再生する画像によって異なります。

[効果]

スライドショー時の効果を選択できます。

項目	効果
OFF	効果を設定しません。
◧	スライドしながら切り換わります。
▒	画像が半透明で重なり合いながら切り換わります。
▣	中央から四方に広がりながら切り換わります。
MIX	ランダムな効果が得られます。

- MANUAL（マニュアル）（手動再生）を設定すると、設定した効果が無効になります。

[音声]

[ON] に設定すると、音声付き静止画の音声が再生されます。

- [MANUAL] は、114 ページ 1 で [★] を選んだときのみ選択できます。
- [MANUAL] を選んだ場合は、◀/▶ を押して前後の画像を表示してください。

- [音声] を [ON] にして音声付き静止画を再生するときは、音声再生終了後、次の画像が表示されます。
- スライドショーでは、以下の機能が使えません。
  - ・パワーセーブ（ただし、スライドショー一時停止中または [MANUAL] スライドショー中は１０分固定でパワーセーブが働きます）
  - ・動画再生

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P113)

★ お気に入り　お気に入りの画像を設定する

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。

- お気に入りに設定した画像以外を削除する。([★以外全削除])(P46)
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。(P114)

1 ▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [OFF] に設定するとお気に入り設定できません。また、すでにお気に入り設定をしている場合も、お気に入り表示 [★] は表示されません。
- [★]の付いた画像が 1 枚もない場合は、[全解除] を選択できません。

2 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

3 ◀/▶ で画像を選び、▲ で設定する

- この手順を繰り返します。
- お気に入り表示 [★] が表示されているときに ▲ を押すと、[★] が消え、お気に入り設定が解除されます。
- お気に入り設定は 999 枚まで設定できます。

■ お気に入り設定を全解除する

❶ 1 の画面で [全解除] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
❷ ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
❸ [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

- お店にプリントを依頼するときに、[★以外全削除](P46)の機能を利用すると、プリントに出したい画像だけをカードに残しておけるので便利です。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って、お気に入りの画像の設定や確認、解除をすることができます。(詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください)
- 他機で撮影された画像では、お気に入り設定ができない場合があります。

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P113)

つづく

回転表示 / 画像回転　画像を回転して表示する

本機を縦に構えて撮影した画像を自動で縦向きに表示させたり、画像を手動で90°ごとに回転させることができます。

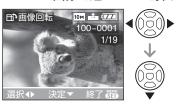
■ 回転表示 (画像を自動で回転して表示する)

1 ▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [OFF] に設定すると画像は回転されずに表示されます。
- 画像を再生する方法については 45 ページをお読みください。

2 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

■ 画像回転 (画像を手動で回転させる)

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

- [回転表示] が [OFF] になっていると、画像回転できません。
- 動画、プロテクトされた画像は回転できません。

2 ▲/▼ で回転方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

↷ :時計回りに 90°回転します。
↶ :反時計回りに90°回転します。

3 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

■ 画像回転の例 [時計回り(↷)の場合]

0° (元画像)　90°　180°　270°

撮影・再生メニュー

- [回転表示]を[ON]にしていると､本機を縦に構えて撮影したときに縦向き（回転されて）に表示されます。
- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、画像を縦向きに表示できない場合があります。（P36）
- AV ケーブル（付属）を使用して本機をテレビに接続し、画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- パソコンで再生するとき、Exif に対応した OS またはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exif とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです]
- 回転された画像をマルチ再生で再生した場合は、回転表示はされません。
- 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P113)

DPOF(ディーポフ) プリント　プリントしたい画像と枚数を設定する

DPOF プリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。

▲/▼で[1枚設定]、[複数設定]または [全解除] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- DPOF プリント設定された画像が 1 枚もない場合は、[全解除] を選択できません。

■ [1 枚設定] 選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▲/▼ でプリント枚数を設定する

- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。このとき、プリント枚数を 0 にすると、DPOF プリント設定が解除されます。

2 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

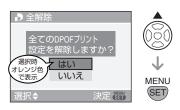
■ [複数設定] 選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▲/▼ でプリント枚数を設定する

- この手順を繰り返します。(一括設定することはできません)
- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。このとき、プリント枚数を 0 にすると、DPOF プリント設定が解除されます。

2 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

■[全解除]選択時

1 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

■日付をプリントする

プリント枚数設定時、[DISPLAY] ボタンを押すごとに日付プリントを設定 / 解除できます。

- お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることをお店で別途指定してください。
- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

- DPOFとはDigital Print Order Formatの略です。DPOF 対応のシステムで活用できるようにプリント情報を書き込むことができるようにしたものです。
- DPOFプリント設定すると、PictBridge対応のプリンターで出力するときにも便利です。日付プリントの設定は、プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。(P130)
- 本機でDPOFプリント設定するときは、他機で設定された DPOF 情報をすべて解除する必要があります。
- DCF 規格に準拠していないファイルはDPOF プリント設定できません。
  [DCF とは Design rule for Camera File system の略で、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)のファイルシステム規格に準拠した記録方式です]

MENU/SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P113)

プロテクト　画像の誤消去を防止する

画像を誤って削除することがないように、削除したくない画像にプロテクトを設定することができます。

▲/▼で[1枚設定]、[複数設定]または[全解除]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

■[1枚設定]選択時

1 ◀/▶で画像を選び、▼で設定/解除する

設定：プロテクト表示が出ます。
解除：プロテクト表示が消えます。

2 [MENU/SET]ボタンを2回押してメニューを終了する

■[複数設定]選択時

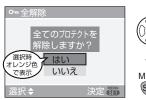
1 ◀/▶で画像を選び、▼で設定/解除する

設定：プロテクト表示が出ます。
解除：プロテクト表示が消えます。

- この手順を繰り返します。

2 [MENU/SET]ボタンを2回押してメニューを終了する

■[全解除]選択時

1 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 全解除中に[MENU/SET]ボタンを押すと途中で全解除が中止されます。

2 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

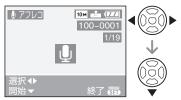
MENU/SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P113)

- プロテクト設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- プロテクトされた画像は削除できません。ファイルを削除したいときは、プロテクト設定を解除してください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は削除されます。(P126)
- プロテクト設定をしていなくても、SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、画像の削除はできません。

- 画像をプロテクトすると以下の機能が使えません。
  - ・画像回転
  - ・アフレコ

アフレコ
撮影したあとに音声を入れる

撮影した画像に、あとから音声を入れることができます。

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押して録音を開始する

- すでに音声が入っている場合、「音声データを上書きしますか?」と表示されます。▲で[はい]を選び、[MENU/SET]ボタンを押して録音を開始してください。(元の音声はなくなります)
- 以下の場合は、アフレコできません。
  - ・動画
  - ・プロテクトされた画像
  - ・クオリティが[RAW]で撮影された画像

2 ▼ を押して録音を終了する

- ▼を押さなくても、約10秒間録音すると、自動的に終了します。

3 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

- 他機で撮影された画像にはアフレコはできない場合があります。
- **アフレコ時にフォーカスリングやズームリングを回すと、鏡筒がこすれる音が入る場合があります。**

MENU/SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P113)

つづく

リサイズ　画素数を小さくする

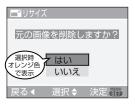
E メール添付やホームページ用に、撮影した画像の容量を小さくすることができます。

1 ◄/► で画像を選び、▼ を押す

- 以下の画像はリサイズできません。
  - ·アスペクト設定が[3:2]の画像のとき記録画素数が [2.5M] (2.5M EZ) で撮影された画像
  - ·アスペクト設定が[16:9]の画像のとき記録画素数が [2M] (2M EZ) で撮影された画像
  - ·クオリティが [RAW] で撮影された画像
  - · 動画
  - · コマ撮りアニメ
  - · 音声付き静止画

2 ◄/► でサイズを選び、▼ を押す

- 撮影した画像のサイズよりも、小さなサイズが表示されます。
  - ·アスペクト設定が [4:3] の画像のとき [8M]/[5M]/[3M]/[2M]/[1M]/[0.3M]
  - ·アスペクト設定が[3:2]の画像のとき [7M]/[4.5M]/[2.5M]
  - ·アスペクト設定が[16:9]の画像のとき [5.5M]/[2M]
- 「元の画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。

3 ▲/▼ で [はい] または [いいえ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [はい] を選ぶと画像が上書きされます。リサイズされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。
- [いいえ] を選ぶとリサイズされた画像が新しく作成されます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。[いいえ] を選んでリサイズされた画像を新しく作成してください。

4 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

- 他機で撮影された画像はリサイズできない場合があります。

MENU/SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P113)

トリミング　画像を拡大して切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

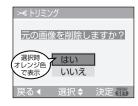
1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

- 以下の画像はトリミングできません。
  - ·クオリティが [RAW] で撮影された画像
  - · 動画
  - · コマ撮りアニメ
  - · 音声付き静止画

2 フロントダイヤルを回して拡大・縮小し、▲/▼/◀/▶ で切り抜く部分を選ぶ

3 シャッターボタンを押す

- 「元の画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。

4 ▲/▼ で [はい] または [いいえ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [はい] を選ぶと画像が上書きされます。トリミングされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。
- [いいえ] を選ぶとトリミングされた画像が新しく作成されます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。[いいえ] を選んでトリミングされた画像を新しく作成してください。

5 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

- トリミングを行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミングを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミングできない場合があります。

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P113)

つづく

アスペクト変換　16:9 の画像の横縦比を変える

[16:9] で撮影した画像を、プリント用に [3:2] または [4:3] に変換することができます。

1 ▲/▼ で [3:2] または [4:3] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [16:9] で撮影された画像のみアスペクト変換できます。

2 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

- [16:9] 以外の画像を選んで決定すると、「この画像には設定できません」とメッセージが表示されます。

3 ◀/▶ で左右の位置を決定し、シャッターボタンで決定する

- 縦に回転されている画像は ▲/▼ で枠移動を行い決定します。

- 「元の画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。

4 ▲/▼ で [はい] または [いいえ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [はい] を選ぶと画像が上書きされます。アスペクト変換された画像が上書きされると、元に戻すことができません。
- [いいえ] を選ぶとアスペクト変換された画像が新しく作成されます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。[いいえ] を選んでアスペクト変換された画像を新しく作成してください。

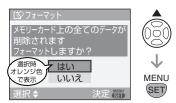
5 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

- アスペクト変換を行うと、変換後の画素数が元の画像より大きくなる場合があります。
- 音声付き静止画、動画、[RAW] で撮影した画像にはアスペクト変換できません。
- DCF 規格に準拠してないファイルはアスペクト変換できません。
  [DCF とは Design rule for Camera File system の略で、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）のファイルシステム規格に準拠した記録方式です]
- 他機で撮影された画像はアスペクト変換できない場合があります。

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P113)

フォーマット　カードを初期化する

通常、カードはフォーマットする必要はありません。「メモリーカードエラー ・フォーマットしますか？」とメッセージが表示された場合などにフォーマットしてください。

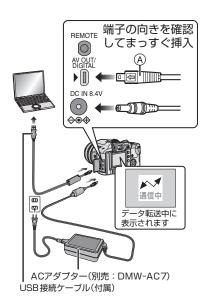
▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- プロテクトされた画像も含めてすべてのデータは一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットされた場合、もう一度本機でフォーマットしてください。
- フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリー（P18）または AC アダプター（別売：DMW-AC7）を使用してください。
- フォーマット中は電源を[OFF]にしないでください。
- SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは、フォーマットできません。

- フォーマットできないときはお買い上げの販売店へご連絡ください。

パソコンと接続する

つづく

モードダイヤル設定： P A S M C 🎞 SCN Ⓐ ▶

本機をパソコンと接続すると、画像を取り込むことができます。
また、CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」（Windows® 用）を使うと、パソコンに画像を取り込んで印刷したり、メールで送ることが簡単にできます。
Windows 98/98SEをご使用の方のみ、USBドライバーのインストールを行ってから接続してください。
CD-ROM(付属）のソフトウェアやインストールなど詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。

- 十分に充電されたバッテリー（P18）または AC アダプター（別売:DMW-AC7）を使用してください。
- 本機の電源を [OFF] にしてから、AC アダプター（別売：DMW-AC7）のケーブルを抜き差ししてください。

1 本機とパソコンの電源を入れる

2 USB 接続ケーブル（付属）で、本機とパソコンを接続する

- USB接続ケーブルの[⬅]マークが端子部の [▶] マークに合うように接続してください。
- USB接続ケーブルは、Ⓐ部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。（斜めや裏向きにして無理に挿入すると、端子が変形して本機や接続する機器の故障の原因になります）

3 ▲ で [PC] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- セットアップメニューで [USB モード] を [PC] に設定しておくと、接続のたびに設定する必要はありません。（P32）
- [USBモード]を[PictBridge(PTP)]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。[キャンセル]（中止）を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。[USB モード] を [PC] に設定し直してください。

Windows の場合

[マイ コンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

- はじめて接続したときは、Windows のプラグアンドプレイにより、本機を認識するために必要なドライバーが自動的にインストールされ、そのあと [マイ コンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

Macintosh の場合

画面上にドライブが表示されます。

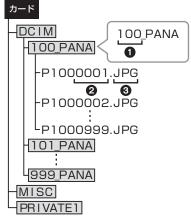
- 画面上に[NO_NAME]または[名称未設定] と表示されます。

■ パソコンでの動画再生について

本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」（Windows2000/XP 用）をご使用ください。

- Windows98/98SE/Meをお使いの場合は、下記のサイトから [QuickTime6.5.2 for PC] をダウンロードしてインストールをしてください。
  http://www.apple.com/jp/support/quicktime/
- Macintosh には標準で搭載されています。

■ フォルダー構造について

フォルダーは下図のように表示されます。

❶ フォルダー番号
❷ ファイル番号
❸ JPG ：画像
　 MOV：動画
　 RAW：RAW ファイルの画像

各フォルダーの内容は以下のとおりです。

DCIM	100_PANA ～ 999_PANA
100_PANA～999_PANA	画像 / 動画 RAW ファイルの画像
MISC	DPOF設定が記録されたファイル
PRIVATE1	コマ撮りアニメの画像

- 本機で記録した場合は、1 つのフォルダーにつき最大999枚の画像データが入ります。それを超えると次のフォルダーが作成されます。
- ファイル番号やフォルダー番号をリセットする場合は、セットアップメニューの [番号リセット] を行ってください。（P31）

■ フォルダー番号が変更される条件について

下記の条件で撮影を行った場合、画像ファイルは直前に記録されたフォルダーとは異なる、新しい番号のフォルダーの中に記録されます。

1 直前に記録されたフォルダーの中にファイル番号 999 の画像ファイル(例:P1000999.JPG)がある場合。
2 直前に記録されたカードの中に、例えばフォルダー番号 100 のフォルダー(100_PANA)があるときに、そのカードを抜いて新たに他社のカメラで撮影した、フォルダー番号 100 の フォルダー(100XXXXX、XXXXXはメーカー名など)があるカードを挿入して撮影した場合。
3 セットアップメニューから [番号リセット](P31)を選び、実行したあとに撮影した場合。(直前に記録されたフォルダーの続きの番号の新しいフォルダーに記録されます。フォーマット直後など、カードの中にフォルダーや画像がない状態で [番号リセット] を実行すると、フォルダー番号を 100 に戻すこともできます)

■ PictBridge(PTP)設定について

Windows XP、Mac OS X のみ [USB モード] を[PictBridge (PTP)] にしても接続できます。

- 本機からは、画像の読み出しのみ行うことができます。カードへの書き込みや、削除はできません。
- カードの中に 1000 枚以上画像があると、取り込めない場合があります。

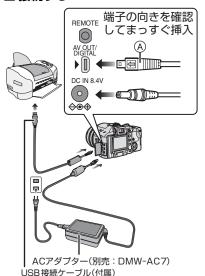
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。
- 「通信中」と表示されている間は、USB 接続ケーブルを抜かないでください。
- カードの画像枚数が多いと、転送に時間がかかります。
- パソコンと本機を接続した状態ではカード内の動画を正常に再生できない場合があります。動画ファイルはパソコンに取り込んでから再生してください。
- 通信中にバッテリー残量がなくなると、データが破壊される恐れがあります。接続するときは十分に残量のあるバッテリー(P18)または AC アダプター(別売:DMW-AC7)を使用してください。
- 通信中にバッテリー残量が少なくなった場合は、電源表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐにパソコン側で通信を中止してください。
- **Windows 2000 を使用して USB 接続した場合には、接続したままでカードの交換を行わないでください。カード内の情報を破壊する恐れがあります。カードの交換をするときは、USB 接続ケーブルを外してから行ってください。**
- パソコンで回転された画像や編集された画像は、再生モード時(P45)、マルチ再生時(P86)、カレンダー再生時(P87)に黒く表示されることがあります。
- 詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。
- パソコンの説明書もお読みください。

プリントする

PictBridge対応プリンターに接続してプリントする

モードダイヤル設定：P A S M C 🎞 SCN 🅰 ▶

USB 接続ケーブル（付属）を使って本機を PictBridge に対応したプリンターに直接接続し、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。
あらかじめプリンター側で印字品質などのプリントの設定をしてください。（プリンターの説明書をお読みください）

■ 接続する

- プリントに時間がかかる場合がありますので、接続するときは十分に充電されたバッテリー（P18）または AC アダプター（別売：DMW-AC7）を使用してください。
- 本機の電源を [OFF] にしてから、AC アダプター（別売：DMW-AC7）のケーブルを抜き差ししてください。

1 本機とプリンターの電源を入れる

2 USB 接続ケーブル（付属）で、本機とプリンターを接続する

- USB接続ケーブルの[⬅]マークが端子部の [▶] マークに合うように接続してください。
- USB接続ケーブルは、Ⓐ部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。

3 ▼ で [PictBridge (PTP)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- セットアップメニューで [USB モード] を [PictBridge (PTP)] に設定しておくと、接続のたびに設定する必要はありません。（P32）

- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。

- シーンモードの赤ちゃんモード（P77）の月齢/年齢やトラベル日付（P80）の経過日数をプリントしたい場合は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使ってパソコンからプリントしてください。詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。

■ 選択画像

1 ▲ で [選択画像] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

- メッセージは約 2 秒後に消えます。

3 ▲ で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 途中でプリントを中止したい場合は [MENU/SET] ボタンを押してください。

4 プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜く

■ 日付プリント、プリント枚数、用紙サイズ、レイアウトの設定について

3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- プリンターが対応していない項目はグレーで表示され、選択することができません。
- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[🖶]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）

日付プリント

🖶	プリンターの設定が優先されます。
OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。

プリント枚数

プリントする枚数を設定してください。

用紙サイズ

(本機で設定可能な用紙サイズ)
1/2 と 2/2 に分かれて表示されます。
▼ を押して選択してください。

1/2	
(プリンターアイコン)	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
A4	210 mm×297 mm

2/2 ※	
カード	54 mm×85.6 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm

※プリンターが対応していない場合は、これらの項目は表示されません。

レイアウト

(本機で設定可能なレイアウト)

(プリンターアイコン)	プリンターの設定が優先されます。
(アイコン)	1 面ふちなし印刷
(アイコン)	1 面ふちあり印刷
(アイコン)	2 面印刷
(アイコン)	4 面印刷

● プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ DPOF

● あらかじめ本機で DPOF プリントの設定をしておく。(P119)

1 ▼ で [DPOF] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲ で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

● DPOF プリントの設定をしていない場合は、[プリント開始] を選択できません。[DPOF 設定] を選び、DPOF プリントの設定をしてください。(P119)
● 途中でプリントを中止したい場合は [MENU/SET] ボタンを押してください。

3 プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜く

■ レイアウト印刷について

- **1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合**
  例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト] を 4 面印刷[ ] に設定し、印刷したい画像の [プリント枚数]を4枚に設定してください。
- **1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合（DPOF プリントのみ）**
  例えば、1枚の用紙に異なる画像を 4 枚印刷する場合、[レイアウト]を4面印刷[ ]に設定し、DPOF プリント設定（P119）で4つの画像の[プリント枚数]を 1 枚に設定してそれぞれ選択してください。

- ケーブル切断禁止アイコン[ ]が表示されているときは、USB 接続ケーブルを抜かないでください。（プリンターによって表示されない場合があります）
- 接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、電源表示ランプが点滅し警告音が鳴ります。プリント中の場合は、[MENU/SET] ボタンを押して、すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB 接続ケーブルを抜いてください。
- プリント中にオレンジ色の[●]のアイコンが表示されているときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- DPOF プリントでは、プリント枚数の合計やプリント設定された画像が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示が設定枚数と異なりますが、故障ではありません。
- 日付プリントの設定は、プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。
- RAW ファイルをプリントする場合、本機で同時に記録された JPEG 画像がプリントされます。JPEG 画像がない場合はプリントできません。

日付プリントについて

日付プリントを設定する

DPOFプリント設定のプリント枚数設定時に[DISPLAY]ボタンを押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。（P120）

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。（赤ちゃんの月齢/年齢やトラベル日付のプリントはお店では依頼できません）

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。（P130）

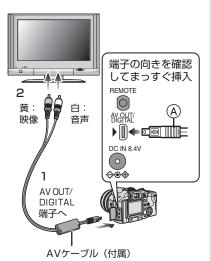
CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-Viewer-」をお使いの場合は、印刷設定で日付入りに設定すると日付プリントができます。詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

テレビで画像を再生する

モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

■ AVケーブル(付属)を使って見る

- [TV アスペクト] を設定する(P33)
- 電源を[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

AVケーブル(付属)

1 **本機の[AV OUT]端子にAVケーブルを確実に接続する**

- AV ケーブルの [⬅] マークが端子部の [▶] マークに合うように接続してください。
- AVケーブルは、Ⓐ部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。

2 **テレビの映像入力端子と音声入力端子に AV ケーブルを接続する**

3 **テレビの電源を入れ、外部入力にする**

4 **本機の電源を [ON] にする**

- 付属の AV ケーブル以外は使わないでください。
- モードダイヤルを再生 [▶] にしているときのみ、テレビに画像を表示させることができます。
- テレビの特性上、画像の上下や左右が多少切れて表示されます。
- ワイドテレビやハイビジョンテレビに接続した場合、テレビ側の画面モードの設定によって、画像が縦や横に伸びたり、画像の上下や左右が切れて表示されることがありますので、その場合は画面モードの設定を変更してください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 画面が流れたり色が付かない場合は、[ビデオ出力] が [NTSC] に設定されているか確認してください。(P32)
- 海外で見るときは 138 ページをお読みください。

■ SDメモリーカードスロット付テレビで見る

SD メモリーカードスロット付テレビに撮影した SD メモリーカードを入れて、静止画を再生することができます。

- SDHC メモリーカードに対応していないテレビでは、再生できません。
- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 動画を再生することはできません。動画を再生したい場合は、AV ケーブル(付属)を使用し、本機をテレビに接続してください。
- マルチメディアカードは再生できないことがあります。

別売品のご紹介

品番・品名	
品番： DMW-BMA7 **品名：** バッテリーパック	
品番： DMW-AC7 **品名：** AC アダプター	
品番： DMW-CZA30 **品名：** 本革ケース	
品番： DMW-LMC55 **品名：** MC プロテクター	
品番： DMW-LND55 **品名：** ND フィルター	
品番： DMW-LT55 **品名：** テレコンバージョンレンズ	
品番： DMW-LW55 **品名：** ワイドコンバージョンレンズ	

品番・品名	
品番： DMW-LC55 **品名：** クローズアップレンズ	
品番： DMW-RSL1 **品名：** シャッターリモコン	
品番： DMW-FL500 DMW-FL360 ※ **品名：** フラッシュライト (※ 2006 年 9 月発売予定)	
品番： DMW-SSTL1 **品名：** ショルダーストラップ	

別売品は、販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご確認ください。

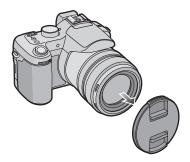
Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

レンズ装着組み合わせ図については 109 ページをお読みください。

MC プロテクター /ND フィルターを使う

MC プロテクター（別売：DMW-LMC55）は、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。また、ND フィルター（別売：DMW-LND55）は、色調に変化を与えずに、光量だけを 1/8（3 絞り分）に減少させることができます。

1 レンズキャップを外す

2 MCプロテクターまたはNDフィルターを取り付ける

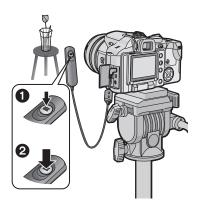
- MC プロテクターと ND フィルターを同時に取り付けることはできません。
- MC プロテクターや ND フィルターを強く締めすぎると、外れなくなる場合がありますので、強く締めつけないようにしてください。
- MC プロテクターや ND フィルターを付けたままでフラッシュを使用した場合は、画面の下が暗く（ケラレ）なる場合があります。
- MC プロテクターや ND フィルターが落下すると、壊れる恐れがあります。装着するときなどは、落とさないようお気をつけください。
- MC プロテクターや ND フィルターを付けたまま、レンズフードを取り付けることができます。
- コンバージョンレンズ（別売）を使う場合は、MC プロテクターや ND フィルターを外してお使いください。
- レンズ装着組み合わせ図については、109 ページをお読みください。

シャッターリモコンを使う

シャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）を使用すると、三脚使用時に手ブレを防ぐことができます。本体のシャッターボタンと同様の働きをします。

1 本機の[REMOTE]端子にシャッターリモコンを確実に接続する

2 撮影する

❶ 軽く押して半押しする
❷ 全押しで撮影する
（奥まで押し込む）

■ シャッターボタンの [LOCK] について

- シャッターボタンを全押しした状態で固定することができます。連写時（P60）に有効です。
- シャッターボタンを全押ししたまま、[LOCK] 側にスライドさせてください。

- [LOCK] を解除するときは [LOCK] と反対側にスライドさせてください。

- [LOCK] を解除した状態で本機に接続してください。
- シャッターリモコンのシャッターボタンを押したままの状態や、シャッターボタンを [LOCK] 側にしている場合は、本機での操作ができなくなりますのでお気をつけください。
- 本機ではバルブ撮影（シャッターボタンを押している間、シャッターが開いている機能）はできません。
- 以下の場合、シャッターリモコンでは操作できません。
  ・パワーセーブを解除するとき
  ・トリミングする部分を決定するとき（P124）
  ・アスペクト変換を決定するとき（P125）

海外で使う

撮ったものを海外で見るには

セットアップメニュー（再生モード）画面から［ビデオ出力］を選んで設定すると、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国・地域と、PAL 方式を採用している国・地域でテレビに接続して見ることができます。

日本と同じNTSC方式を採用している国・地域

- アメリカ合衆国
- アンチグア・バーブーダ
- イエメン（一部地域）
- 英領バーミューダ諸島
- エクアドル
- エルサルバドル
- ガイアナ
- カナダ
- キューバ
- グァテマラ
- グァム島
- グレナダ
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- スリナム
- セントクリストファー・ネイビス
- セントビンセント・グレナディーン諸島
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ共和国
- ドミニカ国
- トリニダード・トバゴ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バハマ
- バルバドス
- フィジー
- フィリピン
- プエルトリコ
- 米領サモア
- ベトナム（一部地域）
- ベネズエラ
- ベリーズ
- ペルー
- ボリビア
- ホンジュラス
- マーシャル諸島
- マリアナ諸島
- ミクロネシア連邦
- ミャンマー
- メキシコ

海外で使用するには

チャージャーは、電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。
変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
充電のしかたは、国内と同じです。

チャージャーは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。
ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

■ 主な国､地域の代表的な電源コンセントのタイプ

つづく

北米													
アメリカ合衆国	A	カナダ	A, BF										
ヨーロッパ・旧ソ連地域													
アイスランド	C	アイルランド	C	イギリス	B, BF, C, O	イタリア	C	ウクライナ	A, C	オーストリア	B, C
オランダ	C	カザフスタン	A, C	ギリシャ	B, C	スイス	B, BF, C	スウェーデン	C	スペイン	A, C
デンマーク	C	ドイツ	C	ノルウェー	C	ハンガリー	C	フィンランド	C	フランス	C, O
ベラルーシ	A, C	ベルギー	C	ポーランド	B, C	ポルトガル	B, C	ルーマニア	C	ロシア	A, C
アジア													
インド	B, BF, C	インドネシア	A, B, BF, C	シンガポール	B, BF	スリランカ	B, C	タイ	A, BF, C	大韓民国	A, BF, C, O
台湾	A, O	中華人民共和国	A, B, BF, C, O	ネパール	B, BF, C	パキスタン	A, B, C	バングラデシュ	B, C	フィリピン	A, B, BF, C, O
ベトナム	A, C	香港特別行政区	B, BF, C	マカオ特別行政区	A, B, C	マレーシア	B, BF, C	モンゴル	B, BF, C		
オセアニア													
オーストラリア	O	グァム島	A	タヒチ	A, C	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A, C, O
中南米													
アルゼンチン	A, BF, C, O	コロンビア	A	ジャマイカ	A	チリ	B, C	ハイチ	A	パナマ	A, BF
バハマ	A	プエルトリコ	A	ブラジル	A, C	ベネズエラ	A	ペルー	A, C	メキシコ	A
中東													
イスラエル	BF, C, O	イラン	BF, C	クウェート	B, BF, C	ヨルダン	B, BF						
アフリカ													
アルジェリア	A, BF, C	エジプト	B, BF, C	カナリア諸島	C	ギニア	C	ケニア	B, BF, C	ザンビア	B, BF
タンザニア	B, BF	南アフリカ共和国	B, BF, C	モザンビーク	C	モロッコ	C						

タイプ	A	B	BF	C	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ		ヨーロピアンタイプ	オーストラリアンタイプ
形状					
変換プラグ	不要です				

ワールドタイムで表示される都市名

GMT との時差	都市名（地域名）			
-11	ミッドウェイ諸島	サモア		
-10	ハワイ	ホノルル	タヒチ	
-9	アラスカ	アンカレッジ		
-8	バンクーバー	シアトル	ロサンゼルス	
-7	デンバー	フェニックス		
-6	シカゴ	ヒューストン	メキシコシティ	
-5	トロント	ニューヨーク	マイアミ	リマ
-4	カラカス	マナウス	ラパス	
-3:30	ニューファンドランド			
-3	リオデジャネイロ	サンパウロ	ブエノスアイレス	
-2	フェルナンド・デ・ノローニャ			
-1	アゾレス			
0	ロンドン	カサブランカ		
+1	ベルリン	パリ	ローマ	マドリード
+2	ヘルシンキ	アテネ	カイロ	ヨハネスブルグ
+3	モスクワ	クウェート	リヤド	ナイロビ
+3:30	テヘラン			
+4	ドバイ	アブダビ		
+4:30	カブール			
+5	イスラマバード	カラチ	マレ	
+5:30	デリー	コルカタ	ムンバイ	チェンナイ
+5:45	カトマンズ			
+6	ダッカ	コロンボ		
+6:30	ヤンゴン			
+7	バンコク	ジャカルタ		
+8	北京	香港	クアラルンプール	シンガポール
+9	東京	ソウル		
+9:30	アデレード			
+10	グァム	シドニー		
+11	ソロモン諸島	ニューカレドニア		
+12	フィジー	オークランド	ウェリントン	
+12:45	チャタム諸島			

※ GMT とは、グリニッジ標準時（世界標準時）のことです。

つづく

メッセージ表示

確認 / エラー内容を液晶モニター / ファインダーに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
このメモリーカードはプロテクトされています	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。(P21、122 、126)
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから（P121）削除や上書きをしてください。
削除できない画像があります / この画像は削除できません	DCF 規格に準拠していない画像は削除できません。 削除したい場合は、パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P126）してください。
設定枚数をこえました	複数削除で一度に設定できる枚数を超えています。 一度削除してから、複数削除を続けてください。
	お気に入り設定が 999 枚を超えています。
この画像には設定できません	DCF 規格に準拠していない画像は DPOF 設定できません。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか？	本機では認識できないフォーマットです。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P126）し直してください。
電源を入れ直してください	本機が正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー カードを確認してください	カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 以下のような場合にもこの表示が出ます。 ● miniSD アダプターに miniSD カードを入れずに本機に挿入したとき 必ずアダプターにminiSDカードを入れてお使いください。

メッセージ	実行していただきたいこと
リードエラー カードを確認してください	データの読み込みに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 カードが確実に挿入されていることを確認してから、もう一度再生してください。
ライトエラー カードを確認してください	データの書き込みに失敗しました。一度電源を [OFF] にしてから、再度 [ON] にして記録してください。またはカードが破壊されている可能性があります。
カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました	● [画質設定]を[30fpsVGA]または[30fps16:9]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 ● カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。(P128) パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P126）してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの［番号リセット］を実行すると、フォルダー番号が 100 にリセットされます。(P31)
4:3TV 用で出力します / 16:9TV 用で出力します	● 本機に AV ケーブルが接続されました。メッセージをすぐに消したい場合は、[MENU/SET] ボタンを押してください。 ● TV アスペクトを変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P33) ● USB接続ケーブルを先に本機に接続した場合も、このメッセージが表示されます。 USB 接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P127、130)

Q & A　故障かな？と思ったら

つづく

メニュー設定をお買い上げ時の状態に戻すと、症状が改善する場合があります。
セットアップメニューの［設定リセット］を実行してください。（P32）

■ バッテリー、電源について

Q（質問）	A（回答）
電源を［ON］にしても動作しない。	バッテリーは正しく入っていますか？
	バッテリーは十分に充電されていますか？ 十分に充電されたバッテリーをお使いください。
電源を［ON］にしているのに、液晶モニターが消灯している。	ファインダー表示になっていませんか？［EVF/LCD］ボタンを押して液晶モニター表示に切り換えてください。
	パワーセーブ（P30）が働いていませんか？ シャッターボタンを半押しして、解除してください。
	バッテリーが消耗していませんか？ 十分に充電されたバッテリーを入れてください。
電源を［ON］にしてもすぐに切れる。	● バッテリーが消耗していませんか？ 十分に充電されたバッテリーを入れてください。 ● 電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。パワーセーブ（P30）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
画像が撮れない。	カードが入っていますか？
	モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？
	カードのメモリー残量はありますか？ 撮影する前にいくつかの画像を削除してください。（P46）
撮影した画像が白っぽい。レンズが汚れている。	レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。汚れたときは、電源を入れ、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	露出が正しく補正されているか確認してください。（P57）
１回の撮影で、２～３枚の画像が撮れるときがある。	オートブラケット（P58）または連写（P60）に設定されていませんか？

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
ピントが合わない。	撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。モードダイヤルを回して、被写体までの距離に応じたモードにしてください。
	ピントが合う範囲から外れていませんか？（P37）
	ピントではなく、画像のブレではありませんか？
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。このようなときは、本機を両手でしっかり持って撮影することをおすすめします。（P36） また、スローシャッターで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー（P56）を使って撮影することをおすすめします。
撮影した画像が粗い / ノイズが出る。	ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？（お買い上げ時の設定では、ISO 感度が [AUTO] になっているため、屋内などの撮影では ISO 感度が高くなります） ● ISO 感度を低くしてください。（P94） ● [画質調整]の[ノイズリダクション]を[高]にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目を [低] にしてください。（P104） ● 明るい場所で撮影してください。
	シーンモードの高感度モード（P79）では、撮影した画像が少し粗くなりますが、高感度処理のためで異常ではありません。
動画撮影が途中で止まる。	マルチメディアカードを使用していませんか？本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
	● [画質設定]を[30fpsVGA]または[30fps16:9]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 ● カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
シャッターボタンを半押しすると、画像が一瞬静止する。	AF モードが 3 点高速または 1 点高速になっていませんか？（P99）

■ 液晶モニター/ ファインダーについて

Q（質問）	A（回答）
液晶モニター / ファインダーの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	電源周波数が 50 Hz の地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合がありますが、これは蛍光灯の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニター / ファインダーが明るすぎたり、暗すぎる。	液晶モニター/ファインダーの明るさを正しく調整してください。（P29）
	パワー LCD モードになっていませんか？（P50）
液晶モニターに画像が出ない。	ファインダー表示になっていませんか？［EVF/LCD］ボタンを押して液晶モニター表示に切り換えてください。
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像には影響しません。
液晶モニターに縦すじが出る。	スミアという現象です。これは CCD の特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。また、スミアの周辺に横引き状のムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。 動画撮影では記録されますが、静止画像には記録されません。
液晶モニターにムラが出る。	液晶モニターの周囲を持つと、液晶モニターにムラが発生しますが、故障ではありません。また、撮影画像や再生画像にも影響はありません。

■ フラッシュについて

Q（質問）	A（回答）
フラッシュが発光しない。	フラッシュを閉じていませんか？[⚡OPEN]レバーをスライドさせて、フラッシュを開いてください。
	動画撮影モード [🎞]（P84）、シーンモードの風景（P73）、夜景（P74）、花火（P76）、星空（P77）、高感度（P79）を選択しているときは、発光しません。
フラッシュが2回発光する。	赤目軽減（P52）にしている場合、人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。

■ 再生について

Q（質問）	A（回答）
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	本機では縦に構えて撮影した画像を自動的に回転して表示する機能があります。（本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、本機が縦に構えて撮影したと認識する場合があります） ● [回転表示]（P117）を [OFF] にすると画像は回転せずに表示されます。 ● [画像回転]（P117）で画像を回転することができます。
再生できない。	モードダイヤルは再生 [▶] に設定されていますか？
	カードが入っていますか？
	カードに再生できる画像はありますか？
フォルダー・ファイル番号が［－］で表示され、画面が黒くなる。	パソコンで編集した画像、または他機で撮影された画像ではないですか？ 撮影直後にバッテリーを抜いたり、消耗したバッテリーで撮影すると、まれに左記のような画像が記録されることがあります。 ● 左記のような画像を削除するにはフォーマット（P126）してください。（他の画像も含めてすべてのデータは一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。）
カレンダー再生をすると、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	パソコンで編集した画像または他機で撮影した画像ではないですか？ このような画像は、カレンダー再生時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。（P87）
	本機の時計設定を正しい日時に設定していますか？（P27） 例えば、本機の時計設定がパソコンに設定されている日時と異なる場合、一度パソコンにコピーした画像をカードに書き戻して、本機でカレンダー再生した場合など、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。 テレビ画面が流れたり色が付かない。	正しく接続されていますか？
	テレビの入力切換を外部入力にしてください。
	本機の [ビデオ出力] を [NTSC] に設定してください。（P32）
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	テレビの機種によっては、表示される領域が狭く、画像が縦や横に伸びたり、画像の上下や左右が切れて表示されることがあります。異常ではありません。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビで動画の再生ができない。	カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ AV ケーブル（付属）をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。（P134）
パソコンに接続して画像を転送できない。	正しく接続されていますか？
	パソコンが本機を正常に認識していますか？
	本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。（P32、127 ）
パソコンにカードが認識されない。	USB 接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態で USB 接続ケーブルを接続し直してください。
プリンターに接続して、プリントができない。	プリンターは PictBridge に対応していますか？ 対応していないプリンターではプリントできません。（P130）
	本機の [USB モード] を [PictBridge (PTP)] に設定してください。（P32、130 ）
プリントすると、画像の端が切れる。	● トリミングや「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください） ● お店によっては、アスペクト設定（P95）を [16:9] に設定して撮影した画像を 16：9 のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	本機の TV アスペクトを確認してください。（P33）

■ その他

Q（質問）	A（回答）
メニューの言語が英語の表示になっている。	[MENU/SET] ボタンを押してセットアップメニュー[ ] を表示し、[ ] アイコンを選んで、言語設定をしてください。（P33）
本機を振ると「カタカタ」と音がする。	これは、レンズが移動する音で故障ではありません。
オートレビューの設定ができない。	オートブラケット撮影（P58）、連写（P60）、動画撮影モード [ ]（P84）、音声記録 [ON]（P98）になっていませんか？これらの設定のときは、セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。
画像の一部が点滅する。	白とびが起こっている部分を示す、ハイライト表示機能です。（P49）

■ その他

Q（質問）	A（回答）
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF 補助光ランプ（P101）が赤く点灯します。
AF補助光が点灯しない。	撮影メニューの [AF 補助光] を [ON] にしていますか？（P101）
	暗い場所での撮影ですか？明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
	シーンモードの風景（P73）、夜景（P74）、花火（P76）、流し撮り（P74）を選択しているときは、AF 補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので異常ではありません。
時計が合っていない。	本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計の設定をしてください。（P27）
	時計設定をしない状態で撮影すると、[0. 0. 0　0:00] の日付が記録されます。
画像の周囲に、実際にはない色が付いている。	画像はズーム倍率によって被写体の輪郭などにわずかに着色して撮影されることがあります。これを色収差といいます。望遠にしたときに色収差は目立つことがありますが、異常ではありません。
ファイル番号が連続して記録されない。	特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。（P129）
ファイル番号がさかのぼって記録される。	電源を [OFF] にせずバッテリーを抜き差しした場合、撮影していたフォルダー番号を記憶することができません。従って、再度電源を [ON] にして撮影した場合、前回撮影していたフォルダー番号と異なるフォルダー番号で記録されることがあります。
画像が黒く表示される。	パソコンで回転された画像や編集された画像は、再生モード時（P45）、マルチ再生時（P86）、カレンダー再生時（P87）に黒く表示されることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)**

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

指定以外のバッテリーパックを使わない
バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
バッテリーパックを炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になったバッテリーについては、156 ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

バッテリーチャージャーは、本機専用のバッテリーパック以外の充電器には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーパックは、本機専用のバッテリーチャージャーで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠警告

電源プラグを破損するようなことはしない（加工したり、熱器具に近づけたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- プラグの修理は、販売店にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠警告

乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

ぬれ手禁止

ぬれた手でバッテリーチャージャーの抜き差しはしない

感電の原因になります。

分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら、本機の金属部やバッテリーチャージャーの電源プラグに触れない

落雷すると、感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

警告

異常があったときは、バッテリーパックを外す
・内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
・落下などで外装ケースが破損したとき
・煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

● 販売店にご相談ください。

注意

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機やカード、バッテリー、バッテリーチャージャーなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

⚠注意

フラッシュや AF 補助光の発光中に、近くで発光部を直接見ない

強い光により、目を痛める原因になることがあります。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない

やけどの原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になることがあります。

- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、バッテリーパックを外す

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- カードは、保護のため取り出しておいてください。

つづく

使用上のお願い

■ 本機について

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない
また、本機に強い圧力がかからないよう気をつける

- 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。
- 強い衝撃が加わるとレンズや液晶モニター、外装ケースが壊れ、故障します。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプター（別売：DMW-AC7）を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、バッテリーを外す、または電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。
- ズームリングやフォーカスリングに付いた汚れやほこりは、ほこりの出にくい乾いた布でふいてください。
- 台所用洗剤や化学ぞうきんは使用しないでください。
- 万一雨水や水滴がかかったときは、柔らかい乾いた布でふいてください。

■ バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P138）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に付けると、本機をいためます。

不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ
  http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

充電式
リチウムイオン
電池使用

Li-ion

■ チャージャーについて

- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約 0.1 W の電力を消費しています）
- チャージャーの端子部を汚さないでください。

■ カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ 画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 三脚について

市販のカメラ用三脚を使うと、シャッタースピードが遅いときや、望遠で撮影するときでも手ブレのない安定した撮影ができます。

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、バッテリーが取り出せないことがあります。
- **三脚使用時、三脚によっては、液晶モニターがスムーズに開閉・回転できない場合があります。このような場合は、本機を三脚から取り外し、液晶モニターを開閉・回転させてください。**
- 三脚の説明書もよくお読みください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

記録可能枚数・記録可能時間

- 記録可能枚数・時間はめやすです。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
- 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。

■ 記録可能枚数

アスペクト設定		4:3				
記録画素数		10M：10M（3648×2736 画素）			8M：8M EZ（3264×2448 画素）	
クオリティ		RAW	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
カード	16 MB	0 枚	2 枚	5 枚	2 枚	6 枚
	32 MB	1 枚	5 枚	11 枚	6 枚	14 枚
	64 MB	2 枚	11 枚	24 枚	14 枚	30 枚
	128 MB	5 枚	24 枚	49 枚	30 枚	61 枚
	256 MB	10 枚	48 枚	97 枚	61 枚	120 枚
	512 MB	21 枚	97 枚	190 枚	120 枚	240 枚
	1 GB	42 枚	195 枚	380 枚	240 枚	480 枚
	2 GB	86 枚	390 枚	780 枚	490 枚	970 枚
	4 GB	170 枚	770 枚	1540 枚	970 枚	1910 枚

アスペクト設定		4:3					
記録画素数		5M：5M EZ（2560×1920 画素）		3M：3M EZ（2048×1536 画素）		2M：2M EZ（1600×1200 画素）	
クオリティ		ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
カード	16 MB	5 枚	10 枚	8 枚	16 枚	13 枚	27 枚
	32 MB	11 枚	23 枚	18 枚	36 枚	29 枚	58 枚
	64 MB	24 枚	48 枚	38 枚	75 枚	61 枚	120 枚
	128 MB	50 枚	99 枚	78 枚	150 枚	125 枚	240 枚
	256 MB	98 枚	190 枚	150 枚	290 枚	240 枚	470 枚
	512 MB	195 枚	380 枚	300 枚	590 枚	480 枚	940 枚
	1 GB	390 枚	770 枚	600 枚	1180 枚	970 枚	1880 枚
	2 GB	790 枚	1530 枚	1220 枚	2360 枚	1920 枚	3610 枚
	4 GB	1560 枚	3010 枚	2410 枚	4640 枚	3770 枚	7090 枚

つづく

アスペクト設定		3:2				
記録画素数		8.5M：8.5M（3600×2400 画素）			7M：7M EZ（3248×2160 画素）	
クオリティ		RAW				
カード	16 MB	0 枚	2 枚	5 枚	3 枚	7 枚
	32 MB	1 枚	6 枚	13 枚	7 枚	16 枚
	64 MB	3 枚	13 枚	27 枚	17 枚	34 枚
	128 MB	6 枚	28 枚	57 枚	35 枚	70 枚
	256 MB	12 枚	56 枚	110 枚	69 枚	135 枚
	512 MB	23 枚	110 枚	220 枚	135 枚	270 枚
	1 GB	48 枚	220 枚	440 枚	270 枚	540 枚
	2 GB	97 枚	450 枚	900 枚	560 枚	1090 枚
	4 GB	190 枚	900 枚	1770 枚	1100 枚	2150 枚

アスペクト設定		3:2			
記録画素数		4.5M：4.5M EZ（2560×1712 画素）		2.5M：2.5M EZ（2048×1360 画素）	
クオリティ					
カード	16 MB	5 枚	12 枚	9 枚	18 枚
	32 MB	13 枚	26 枚	20 枚	40 枚
	64 MB	27 枚	54 枚	43 枚	83 枚
	128 MB	56 枚	110 枚	88 枚	165 枚
	256 MB	110 枚	210 枚	170 枚	330 枚
	512 MB	210 枚	430 枚	340 枚	650 枚
	1 GB	440 枚	860 枚	680 枚	1310 枚
	2 GB	890 枚	1700 枚	1360 枚	2560 枚
	4 GB	1740 枚	3350 枚	2680 枚	5020 枚

アスペクト設定		16:9				
記録画素数		7M：7M（3584×2016 画素）			5.5M：5.5M EZ（3072×1728 画素）	
クオリティ		RAW				
カード	16 MB	0 枚	3 枚	7 枚	4 枚	10 枚
	32 MB	1 枚	7 枚	16 枚	10 枚	21 枚
	64 MB	3 枚	16 枚	33 枚	22 枚	45 枚
	128 MB	7 枚	34 枚	68 枚	46 枚	92 枚
	256 MB	14 枚	67 枚	130 枚	91 枚	180 枚
	512 MB	28 枚	130 枚	260 枚	180 枚	350 枚
	1 GB	56 枚	260 枚	530 枚	360 枚	710 枚
	2 GB	115 枚	540 枚	1070 枚	730 枚	1420 枚
	4 GB	220 枚	1060 枚	2110 枚	1450 枚	2800 枚

アスペクト設定		16:9	
記録画素数		2M：2M EZ（1920×1080 画素）	
クオリティ		ファイン	スタンダード
カード	16 MB	12 枚	25 枚
	32 MB	27 枚	53 枚
	64 MB	57 枚	105 枚
	128 MB	115 枚	220 枚
	256 MB	230 枚	430 枚
	512 MB	450 枚	860 枚
	1 GB	910 枚	1720 枚
	2 GB	1800 枚	3410 枚
	4 GB	3540 枚	6700 枚

■ 記録可能時間

画質設定		30fpsVGA	10fpsVGA	30fpsQVGA	10fpsQVGA
カード	16 MB	6 秒	26 秒	26 秒	1 分 23 秒
	32 MB	17 秒	59 秒	59 秒	2 分 55 秒
	64 MB	39 秒	2 分	2 分	6 分
	128 MB	1 分 23 秒	4 分 10 秒	4 分 10 秒	12 分 20 秒
	256 MB	2 分 45 秒	8 分 10 秒	8 分 10 秒	24 分
	512 MB	5 分 30 秒	16 分 20 秒	16 分 20 秒	47 分 50 秒
	1 GB	11 分	32 分 50 秒	32 分 50 秒	1 時間 35 分 50 秒
	2 GB	22 分 30 秒	1 時間 7 分	1 時間 7 分	3 時間 15 分
	4 GB※	44 分 20 秒	2 時間 11 分 50 秒	2 時間 11 分 50 秒	6 時間 22 分 50 秒

画質設定		30fps16:9	10fps16:9
カード	16 MB	5 秒	22 秒
	32 MB	14 秒	50 秒
	64 MB	33 秒	1 分 46 秒
	128 MB	1 分 11 秒	3 分 35 秒
	256 MB	2 分 20 秒	7 分
	512 MB	4 分 40 秒	14 分
	1 GB	9 分 20 秒	28 分 10 秒
	2 GB	19 分 20 秒	57 分 30 秒
	4 GB※	38 分	1 時間 53 分 10 秒

※動画を連続で撮影できるのは、最大 2 GB までです。

- [RAW] を選択すると、記録画素サイズは各アスペクト比の最大記録画素数に固定されます。
- 液晶モニター / ファインダーに表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- シーンモードの高感度モード（P79）では、EX 光学ズームが働きませんので、記録画素数の [EZ] は表示されません。

仕様

つづく

電源	DC 8.4 V
消費電力	1.7 W（液晶モニター撮影時） 1.7 W（ファインダー撮影時） 1.0 W（液晶モニター再生時） 1.0 W（ファインダー再生時）

カメラ有効画素数	1010 万画素
撮像素子	1/1.8 型 CCD　総画素数 1037 万画素、 原色カラーフィルター
レンズ	光学 12 倍ズーム　f=7.4 mm ～ 88.8 mm（35 mm フィルムカメラ換算：35 mm ～ 420 mm）/ F2.8 ～ F3.7
デジタルズーム	最大 4 倍
EX 光学ズーム	最大 21.4 倍
フォーカス	通常 /AF マクロ / マニュアルフォーカス 9 点 /3 点 (H)/1 点 (H)/1 点 / スポット
撮影範囲	AF： 30 cm（W 端時）/2 m（T 端時）～∞ AF マクロ /MF： 5 cm（W 端時）/2 m（T 端時）～∞
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
動画撮影	640×480 画素 /320×240 画素 /848×480 画素、 30 コマ / 秒、10 コマ / 秒　音声付き
連写撮影 　**連写速度** 　**連写枚数**	 2 コマ / 秒（高速）、1 コマ / 秒（低速）、 約 1 コマ / 秒（フリー連写） 最大 5 コマ（スタンダード）、最大 3 コマ（ファイン）、 カードの空き容量に依存（フリー連写）
ISO 感度	AUTO/ インテリジェント / 100/200/400/800/1600 高感度モード：3200
シャッタースピード	60 秒～ 1/2000 秒 星空モード：15 秒、30 秒、60 秒 動画：1/30 秒～ 1/6400 秒
ホワイトバランス	オート / 晴天 / 曇り / 日陰 / 白熱灯 / フラッシュ/ セットモード 1/ セットモード 2

露出	プログラム AE（P）、絞り優先 AE（A）、 シャッター優先 AE（S）、マニュアル露出（M） 露出補正（1/3 EV ステップ、−2 EV ～ +2 EV）
測光方式	評価測光 / 中央重点測光 / スポット測光
液晶モニター	2.0 型低温ポリシリコン TFT 液晶（約 20.7 万画素） （視野率約 100%）
ファインダー	カラー液晶ビューファインダー（約 23 万画素） （視野率約 100%）（視度調整付き－ 4 ～＋ 4dioptor）
フラッシュ	内蔵ポップアップ式 撮影可能範囲：約 30 cm ～約 7.4 m （W 端、[ISO AUTO] 設定時）
	オート / 赤目軽減オート / 強制発光（赤目軽減強制）/ 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	SD メモリーカード /SDHC メモリーカード / マルチメディアカード（静止画のみ対応）
記録画素数 　**静止画**	 アスペクト [4:3] 設定時 3648×2736 画素 /3264×2448 画素 /2560×1920 画素 /2048×1536 画素 /1600×1200 画素 アスペクト [3:2] 設定時 3600×2400画素/3248×2160画素/2560×1712画素 /2048×1360 画素 アスペクト [16:9] 設定時 3584×2016 画素 /3072×1728 画素 /1920×1080 画素
動画	アスペクト [4:3] 設定時 640×480 画素 /320×240 画素 アスペクト [16:9] 設定時 848×480 画素
クオリティ（圧縮率）	ファイン / スタンダード /RAW
記録画像ファイル形式 　**静止画**	 JPEG（DCF 準拠、Exif2.21 準拠）/RAW、DPOF 対応
音声付き静止画	JPEG(DCF 準拠、Exif2.21 準拠)+640×480 QuickTime（音声付き静止画）
動画	QuickTime Motion JPEG（音声付き動画）

インターフェース 　デジタル 　アナログビデオ / 　オーディオ	 USB 2.0（Full Speed） NTSC/PAL コンポジット（メニュー切り換え）/ オーディオライン出力（モノラル）
端子 　REMOTE 　AV OUT/ 　DIGITAL 　DC IN	 ϕ2.5 mm ジャック 専用ジャック（8 pin） タイプ 3 ジャック
寸法	約 幅 131.2 mm× 高さ 85.5 mm× 奥行き 142 mm（突起部除く）
質量	約 668 g（本体） 約 714 g（カード、バッテリー含む）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10% ～ 80%

専用バッテリーチャージャー /DE-993A

定格出力	DC 8.4 V　0.43 A（充電時）
定格入力	AC100 V— 240 V　50/60 Hz
入力容量	19 VA

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BMA7

電圧 / 容量	7.2 V、710 mAh

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・
- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間 （「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品の保有期間
当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき
この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルカメラ
品　番	DMC-FZ50
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

つづく

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、下記をご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…　06-6907-1187

FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区					
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	**帯広**	帯広市西20条北2丁目23-3 ☎ (0155)33-8477	**函館**	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631
旭川	旭川市2条通16丁目1166 ☎ (0166)22-3011				

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

東北地区

青森 青森市大字浜田 字豊田364 ☎(017)775-0326	**岩手** 盛岡市厨川5丁目 1-43 ☎(019)645-6130	**山形** 山形市平清水1丁目 1-75 ☎(023)641-8100
秋田 秋田市東通り2丁目 1-7 ☎(018)831-7833	**宮城** 仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎(022)387-1117	**福島** 郡山市亀田1丁目 51-15 ☎(024)991-9308

首都圏地区

栃木 宇都宮市上戸祭 3丁目3-19 ☎(028)689-2555	**埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	**山梨** 甲府市宝1丁目 4-13 ☎(055)222-5171
群馬 前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075	**千葉** 千葉市中央区末広 5丁目9-5 ☎(043)208-6034	**神奈川** 横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎(045)847-9720
茨城 つくば市筑穂3丁目 15-3 ☎(029)864-8756	**東京** 東京都世田谷区 宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780	**新潟** 新潟市東明1丁目 8-14 ☎(025)286-0171

中部地区

石川 金沢市横川3丁目20 ☎(076)280-6608	**長野** 松本市寿北7丁目 3-11 ☎(0263)86-9209	**岐阜** 岐阜市中鶉4丁目42 ☎(058)278-6720
富山 富山市根塚町1丁目 1-4 ☎(076)424-2549	**静岡** 静岡市駿河区有東 2丁目3-22 ☎(054)287-9000	**高山** 高山市花岡町3丁目 82 ☎(0577)33-0613
福井 福井市問屋町2丁目 14 ☎(0776)25-5001	**愛知** 名古屋市瑞穂区 塩入町8-10 ☎(052)819-0225	**三重** 津市久居野村町 字山神421 ☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀 栗東市霊仙寺1丁目 1-48 ☎(077)582-5021	**大阪** 大阪市北区本庄西 1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
京都 京都市伏見区竹田 中川原町71-4 ☎(075)672-9636	**奈良** 大和郡山市筒井町 800番地 ☎(0743)59-2770	**兵庫** 神戸市中央区 琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	**山口** 山口県吉敷郡小郡町下郷220-1 ☎ (083)973-2720
松江 松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	**岡山** 岡山市田中138-110 ☎ (086)242-6236	

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388	**高知** 高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142	**愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎ (089)905-7544
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253		

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**天草** 本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎 長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	**大島** 名瀬市長浜町10-1 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0506

さくいん

つづく

ろ

わ

英字

修理を依頼されるときは

まず「Q & A　故障かな？と思ったら」をお読みください。それでも解決しない場合は故障の可能性があります。
お買い上げの販売店または修理ご相談窓口（P165 ～ 167 ）にお問い合わせください。万一、故障が発生し、保証期間内の返品または修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

- 修理の際に、セットアップメニュー、撮影メニュー、再生メニューなどの設定を出荷状態に戻さなければならない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 画質・ピント・手ブレ関連の故障の場合、支障のない範囲でできるだけご指摘の画像を製品に添付していただきますようお願いいたします。

ご記入日：　　　年　　月　　日

■ 商品に関して

機種名	DMC-FZ50	製造番号 （保証書または本体底面に記載）	
お買い上げ日	年　月　日	保証書添付	□有り　□無し

■ 確認事項

修理代金の見積もり （有償修理時のみ）	□不要　□＿＿＿万円以上必要　□必要
修理ご依頼時の添付品 （本体以外の添付品をご記入ください）	

■ 故障の症状について

	発生時期	ご購入後　□直後　□1ヵ月以内　□1ヵ月以上
	発生頻度	□常時　□時々　□1回のみ
故障発生時の使用状況	電源スイッチ	□ONのとき　□OFFのとき
	使用していた電源	□バッテリー（種類：　　　）　□ACアダプター
	操作モード	□撮影のとき　□再生のとき
	パソコンとの接続	□接続していた（OS：　　）（メーカー：　　）（機種：　　）　□接続していない
	故障の症状 （できるだけ具体的にご記入ください）	

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を
使用しています。

QuickTime およびQuickTime ロゴは、ライセンス
に基づいて使用されるApple Computer, Inc.の商標
または登録商標です。

愛情点検　**長年ご使用のデジタルカメラの点検を！**

こんな症状はありませんか	・電源プラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水や異物が入った ・画像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

▼

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	DMC-FZ50
販　売　店　名	☎（　　　）		
お客様相談窓口	☎（　　　）		

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町１番15号

F0606Sq0 (10000 Ⓐ)